



年頭のご挨拶

日本体力医学会

理事長 吉岡利忠

会員の皆様におかれましては益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

これまでに、日本体力医学会理事長が学会の機関誌である「体力科学」に年頭のご挨拶を述べたことはないように記憶しております。しかし、本年2012（平成24）年は、歴史ある機関誌「体力科学」に加えて英文誌発行という、学会としては極めて記念すべき年になること、それに加えいくつかの事業が開始されることになりました。そこで、誠に僭越ではありますが、一言挨拶を申し上げたいと存じます。

はじめに、昨年3月11日（金）、東北・関東地方を襲った大災害の犠牲になられた方々に深甚なるお悔やみを申し上げます。併せて被災されたすべての方々に心からお見舞いを申し上げ、被災地域の早急なる復興をお祈り致します。本学会では災害地区の会員に対して2011年度の会費を無料にするとともに、第66回本学会大会（下関市）では江橋博大会長のご配慮により、大会参加費免除の処置を執っていただきました。さらに、本学会のホームページに「エコノミークラス症候群の予防対策と水分補給について」を掲載し、被災された方々の健康維持・管理に配慮致しました。

また、American College of Sports Medicine（ACSM）が発行している運動負荷試験と運動プログラムのガイドラインを本学会編集委員会が監訳し「運動処方指針8版」（南江堂）として発売（2011年7月）され、好評を得ております。また、「日本医学会医学用語管理委員会編・医学用語辞典」が日本医学会ホームページで閲覧できるようになりました。ご存じのように、日本体力医学会は現在110の学術団体が加盟している日本医学会の第39分科会（社会部門）として「基礎部門」および「臨床部門」と連携をとりながら活動しております。尚、医学用語辞典の閲覧にはID、パスワードが必要ですので日本体力医学会事務局（学会支援機構）にお問い合わせ下さい。

さて、冒頭でも述べましたように、本学会の英文誌（The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine [JPFSM]）が刊行される運びとなりました。これは日本体力医学会創立60周年記念事業の一環として企画され、比較的短期間で欧文誌編集委員会設立、投稿規定、出版方針、出版頻度および予算案等が決定され、今泉和彦英文誌編集委員長、鈴木政登体力科学編集委員長ならびに各委員の精力的なご尽力によって現実のものになり、大変嬉しく思っております。英文誌の雑誌名には“Japanese”あるいは“Japan”を取って入れず、アジア地域に限らず広く全世界からの論文投稿の期待を込めました。この学術誌が世界に通ずる内容となるよう会員の皆様の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。なお、JPFSM誌へのReviewとShort Reviewの執筆を承諾された方は153名にのぼり、今後2年間の間に153編の論文が掲載される予定であると聞き及んでおります。このように、会員の皆さまのご支援によりさらに飛躍することが期待され、わが国に於けるこの分野の学術団体および学術誌として不動の地位を築いていくことを確信し、挨拶と致します。

2012（平成24）年1月吉日

第67回日本体力医学会大会のご案内（第2報）

第1報でご案内いたしましたように、第67回日本体力医学会を下記の予定で開催する準備を進めています。一般発表の登録および学会誌「体力科学6号」抄録原稿の提出はすべて大会ホームページ上で行います。本大会の一般発表への応募は学会員に限りませんが、共同研究者は学会員でなくともかまいません。

記

1. 会 期：平成24年9月14日(金)、15日(土)、16日(日)
2. 会 場：長良川国際会議場・岐阜都ホテル（岐阜市）
3. 大 会 長：古田 善伯（放送大学岐阜学習センター所長・岐阜大学名誉教授）
4. 大会事務局：岐阜大学大学院医学系研究科スポーツ医科学分野
第67回日本体力医学会大会事務局
事務局長：松岡 敏男（岐阜大学）
E-mail：matsuoka@gifu-u.ac.jp
TEL：058-230-6421 FAX：058-230-6422

運営事務局：日本コンベンションサービス株式会社 中部支社
担当：安治, 山崎
〒460-0003 名古屋市中区錦3-6-35 名古屋郵船ビル4階
TEL：052-957-2131 FAX：052-954-2355
E-mail：67tairyoku@convention.co.jp

5. 大会プログラム（予定）
 - (1) 大会長講演
 - (2) 特別講演
 - (3) 教育講演
 - (4) シンポジウム
 - (5) 国際セッション
 - (6) ワークショップ
 - (7) 一般研究発表（口頭発表・ポスター発表）
 - (8) 学会賞受賞講演
 - (9) ランチョンセミナー
 - (10) 公開講座（県民・市民講座）
 - (11) 持久走大会

※プログラムの内容は決定次第、本大会ホームページ上で随時更新いたします。

第67回学会大会ホームページ：<http://www2.convention.co.jp/tairyoku2012/>

参加登録方法

1. 参加登録の方法

大会に参加するには参加登録が必要です。参加登録の方法は、事前登録および当日登録があります。事前登録は大会ホームページ上で、当日登録は大会会場受付で行います。

なお、事前登録され、大会参加費を納入された方には大会開催前に予稿集、大会参加証をお送りいたします。

2. 大会参加費

学会会員	事前登録	一般	10,000円	学生	5,000円
	当日登録	一般	12,000円	学生	7,000円
非会員		一般	12,000円	学生	7,000円

※非会員の参加登録は当日登録のみとさせていただきます。

3. 事前登録

(1) 事前登録期間

平成24年4月10日(火)～7月31日(火) 正午まで

(2) 事前登録の方法

事前登録はホームページ上で受け付けます。大会ホームページの参加登録のバナーから、案内に従い、登録を行って下さい。

第67回学会大会ホームページ：<http://www2.convention.co.jp/tairyoku2012/>

※オンライン登録以外の登録はありませんので、ご注意下さい。

(3) 大会参加費の支払い方法

大会参加費は、オンラインでの参加登録システムにおいて、①クレジットカード、②銀行振り込み、のどちらかの方法でお支払い下さい。

1) 振込みの際には、個人IDを登録する必要があります。個人IDは、オンラインにて個人情報登録後、メールにてお知らせいたしますので、必ずご記入下さい。

【銀行振込先】

銀行名：三井住友銀行日比谷支店（店番号632）

口座番号：8688217

口座名義：第67回日本体力医学会大会 実行委員長 松岡 敏男

※必ずオンライン登録を行って下さい。

※参加者のお名前にてお振り込み願います。

※振り込み手数料は参加者のご負担にてお願いいたします。

4. 当日登録

事前登録をされていない会員、非学会員の方が本大会に参加する場合は当日登録をしていただくことになります。大会開催期間中は、会場内に当日登録所を設置しますので、必ず登録をお願いいたします。

プログラム公募のお知らせ

シンポジウム・ワークショップ・ランチョンセミナーの公募について

実行委員会では上記プログラムに関して、会員への一般公募を行います。応募数はシンポジウム6演題、ワークショップ5演題、ランチョンセミナー10演題です。募集要項がありますので、下記連絡先に問い合わせ下さい。

- 1) シンポジウム・ワークショップは、テーマおよび司会、発表演者、所属、意義などを含めて企画立案をお願いします。1テーマは90～100分の時間枠で募集します。
- 2) なお、教育講演は今回の実行委員会企画部が企画し、最近のテーマを中心にまたその分野で活躍されている方をお願いする予定です。1テーマは50分の時間枠で行います。
- 3) ランチョンセミナーは、テーマおよび講演者、司会、協賛企業を含めて企画立案をお願いいたします。1テーマ60分の時間枠で募集します。

【応募方法】

第67回大会ホームページ <http://www2.convention.co.jp/tairyoku2012/> から応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入し、下記のプログラム担当へお送り下さい。詳細はホームページをご確認下さい。

【応募期間】 平成24年3月23日(金)

いずれも最終的な採否は実行委員会で行うことをあらかじめご了承願います。

採択したプログラムの抄録はUMINによるオンライン登録を行っていただきます。

【連絡先】

岐阜大学大学院医学系研究科 神経統御学講座 スポーツ医科学分野

松岡 敏男

〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸1-1

TEL：058-230-6421 FAX：058-230-6422

E-mail：matsuoka@gifu-u.ac.jp

各種研究会 会場提供について

各種委員会の会場の提供（大会本部が斡旋した会場に関して）は、学会大会前日（平成24年9月13日（木））の午後1時～5時となります。長良川国際会議場の施設内は会議を行う場所がないため、岐阜大学構内（岐阜県岐阜市柳戸1-1）に会場を準備しています。研究会代表者の方は応募用紙を本大会ホームページからダウンロードし、研究会名、代表者名、参加人数、必要機器などを応募用紙に記入され、E-mailにてご連絡下さい。なお、学会本部が斡旋した会場以外での開催につきましては各研究会の対応をお願いいたします。

会場費、会場備品、機器使用が発生する場合の費用は各研究会の負担となります。

会場の大きさ、定員、使用料については大会ホームページをご覧ください。
各種研究会の問い合わせ、ご応募は下記までご連絡下さい。

【応募期間】

平成24年4月10日（火）～平成24年6月30日（土）

【応募先】 【問い合わせ先】

岐阜大学大学院医学系研究科 神経統御学講座 スポーツ医科学分野
松岡 敏男

〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸1-1

TEL：058-230-6421 FAX：058-230-6422

E-mail：matsuoka@gifu-u.ac.jp

国際セッションの演題募集のお知らせ

日本体力医学会では、ヨーロッパスポーツ科学学会（European College of Sport Science, ECSS）をはじめとする海外の学会との相互交流を促進し、学会員の学術レベルを高めることを目的として、若手研究者を中心とした交流事業を平成11年度より実施しております。

今大会でも日本と海外の研究者の参加による「国際セッション」を開催いたします。発表形式は約15分～20分（質疑応答を含む）の口演の予定で、使用言語は英語です。発表を希望される方は以下の要領でご応募下さい。

【応募資格】

45歳以下の日本体力医学会会員

【応募方法】

1. 抄録作成要項

抄録は英文3,000文字以内（タイトルと演者、共同演者名、所属機関名は含めませんが、スペースは含みます）とし、MS Wordで作成して下さい。図表は使用せず、参考文献は抄録の最後に記載して下さい。

2. 送付方法

作成したファイルは電子メールに添付し、kats@tokyo-med.ac.jp宛に送付して下さい。電子メールの本文中には氏名、所属機関名、連絡先住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレスを記載して下さい。

3. 締め切り

平成24年5月31日(木) 正午まで

【連絡先】

〒160-8402 東京都新宿区新宿6-1-1

東京医科大学健康増進スポーツ医学講座

日本体力医学会国際セッション係

担当：勝村 俊仁

E-mail：kats@tokyo-med.ac.jp

TEL：03-3351-6141（内線237） FAX：03-3226-5277

【選考方法】

日本体力医学会渉外委員会で審査し、応募演題の中から原則として3演題を選出いたします。

【結果通知】

選考結果は直接本人に通知いたします。

演題応募方法

1. 演題応募資格

演題応募ができるのは、会員番号を持つ日本体力医学会員に限ります（会員番号は会員名簿に記載）。共同研究者は学会員でなくともかまいません。

非会員の方は、日本体力医学会ホームページからオンラインで、入会手続きを行って下さい。（自動返信メールで会員番号が通知されます）FAX・郵送の場合は入会手続き後、会員番号がお手元に届くまでに数週間かかりますので、お早めの手続きをお願いします。

【入会申し込み・問い合わせ】

事務局：一般社団法人学会支援機構内 日本体力医学会

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン 4階

Tel：03-5981-6015（学会専用） Fax：03-5981-6012（学会支援機構）

E-mail：jspfsm@asas.or.jp

2. 一般研究発表の種類と注意事項

一般研究発表は、口頭発表とポスター発表の2種類です。本大会は、一般研究発表はできる限り口頭発表を多くするように計画中です。発表予定者の方々は発表形式の選択を行って下さい。ただし、口頭発表には限りがありますので（約250演題）、希望に添えない場合があります。発表形式の決定は実行委員会に一任させていただきますことをご了承下さい。発表形式の決定は演題採択時にお知らせいたします。

なお、発表者としての一般研究発表への登録は、会員1名につき1演題に限ります。共同研究者としての演題登録は、何演題でもかまいません。

3. 今回は若手研究者に対して学会奨励賞を企画しています。（10名程度－奨励金）

審査委員は日本体力医学会理事並びに本大会長により決めさせていただきます。研究分野は問いません。応募を希望される方は手続きを行って下さい。

応募資格は学会当日で39歳以下の若手研究者に限ります。

年齢詐称の場合は受賞を取り消すことがあります。

4. 一般研究発表の演題登録方法について

(1) 演題登録期間

開始：平成24年4月10日(火)

締切：平成24年5月31日(木) 正午まで

発表者が平成24年5月31日(木)までに会員登録が未完了の場合、演題登録は受けられませんので、ご注意下さい。

(2) 演題登録方法

本大会での演題応募は全て大会ホームページ上で行います。本大会ホームページの演題応募のバナーをクリックし、演題登録ページに入って下さい。その後、手順に従って登録画面から必要事項を記入し、登録を行って下さい。

演題を最初に登録した際に自動的に登録番号が発行されます。また、登録者ご本人に任意のパスワードを決めていただきます。登録期間内ならば抄録は何回でも修正できますが、その場合、登録番号とパスワードの入力が必要となりますので、必ず控えておいて下さい。また、ここでの登録番号とパスワードは、後日「体力科学6号」掲載用抄録を登録する場合にも必要となりますので忘れることのないようご注意ください。

大会ホームページURL：<http://www2.convention.co.jp/tairyoku2012/>

(3) 登録における注意事項

【大会予稿集抄録の字数】

演題、演者、共同研究者、所属機関（大学名・所属機関のみ）本文を含めて**総文字数 638文字（29字×22行）**以内で作成して下さい。**演題名・演者・共同研究者・所属は116文字（4行以内）**でお願いします。（大学名・所属名は大学名のみ記入して下さい）。抄録には図表を入れることは出来ません。必要事項の記入漏れがあった場合、字数を超えた場合はエラーメッセージが出ますので、エラーメッセージにしたがい修正して下さい。エラーメッセージがなくなる限り、登録が完了しませんのでご注意ください。

【大会予稿集抄録の構造化】

大会予稿集抄録は【背景】、【目的】、【方法】、【結果】、【結論】の小見出しをつけて下さい。構造化されていない抄録は原則として採択いたしません。

(4) 演題の受領および発表日時の通知

演題の受領通知は、電子メールにて行います。また、演題の採否は、大会実行委員会において決定し、7月上旬に電子メールにて通知いたします。発表日時は大会ホームページ上のプログラムで確認して下さい。

<本大会で一般研究発表された演題の抄録は学会誌「体力科学6号」に掲載します>

5. 学会誌「体力科学6号」の掲載用抄録の登録方法

(1) 「体力科学6号」の掲載用抄録の登録期間

開始 平成24年7月上旬（採択通知到着後から）

締切 平成24年9月30日（日）正午まで

締切を過ぎると「体力科学6号」への抄録の掲載ができません。

(2) 登録方法

「体力科学6号」掲載用抄録の登録は、予稿集抄録登録と同様に大会ホームページから行って下さい。その際、**一般研究発表の演題登録時に発行された登録番号とパスワードの入力が必要となります。**

(3) 抄録原稿作成時の注意事項

【抄録の字数】

演題、演者、共同研究者、所属機関、本文を含めて**総文字数 840文字（28字×30行）**以内で作成して下さい。小見出しも字数（20字）に含まれます。図表を入れることは出来ません。その他、詳細に関してはホームページ上で確認して下さい。

【抄録の構造化】

抄録は【背景】、【目的】、【方法】、【結果】、【結論】の小見出しをつけて下さい。構造化されていない抄録は原則として採択いたしません。

【論文分類キーワードの添付】

論文分類のキーワードは3つ入力して下さい。

6. その他の注意事項

- (1) 会員の使用コンピューターの問題で演題応募ができない場合でも特別の配慮はいたしません。
- (2) 登録番号とそのときに決めたパスワードは大切に保管してください。登録番号、パスワードに関する問い合わせには、運営事務局では、セキュリティの関係上一切応じられません。
- (3) ホームページ演題応募に関するお問い合わせは、下記運営事務局内 予稿集担当までご連絡下さい。
- (4) トラブル発生などの情報はホームページ上に随時掲載いたしますので、お問い合わせの前に必ずご覧いただきますようお願いいたします。

演題登録に関するお問合せ先

【第67回日本体力医学会大会運営事務局内 予稿集担当】

日本コンベンションサービス株式会社 中部支社

担当：安治，山崎

〒460-0003 名古屋市中区錦3-6-35 名古屋郵船ビル 4階

TEL：052-957-2131 FAX：052-954-2355

E-mail：67tairyoku@convention.co.jp

その他のご案内

1. 持久走大会

要項を大会ホームページおよび大会予稿集に掲載いたします。奮ってご参加下さい。

2. 会員懇親会

開催方向で準備を進めていますが決定ではありません。詳細は大会ホームページ上を参照にしてください。

3. 宿泊・交通

近畿日本ツーリスト旅行会社にて斡旋を委託しております。

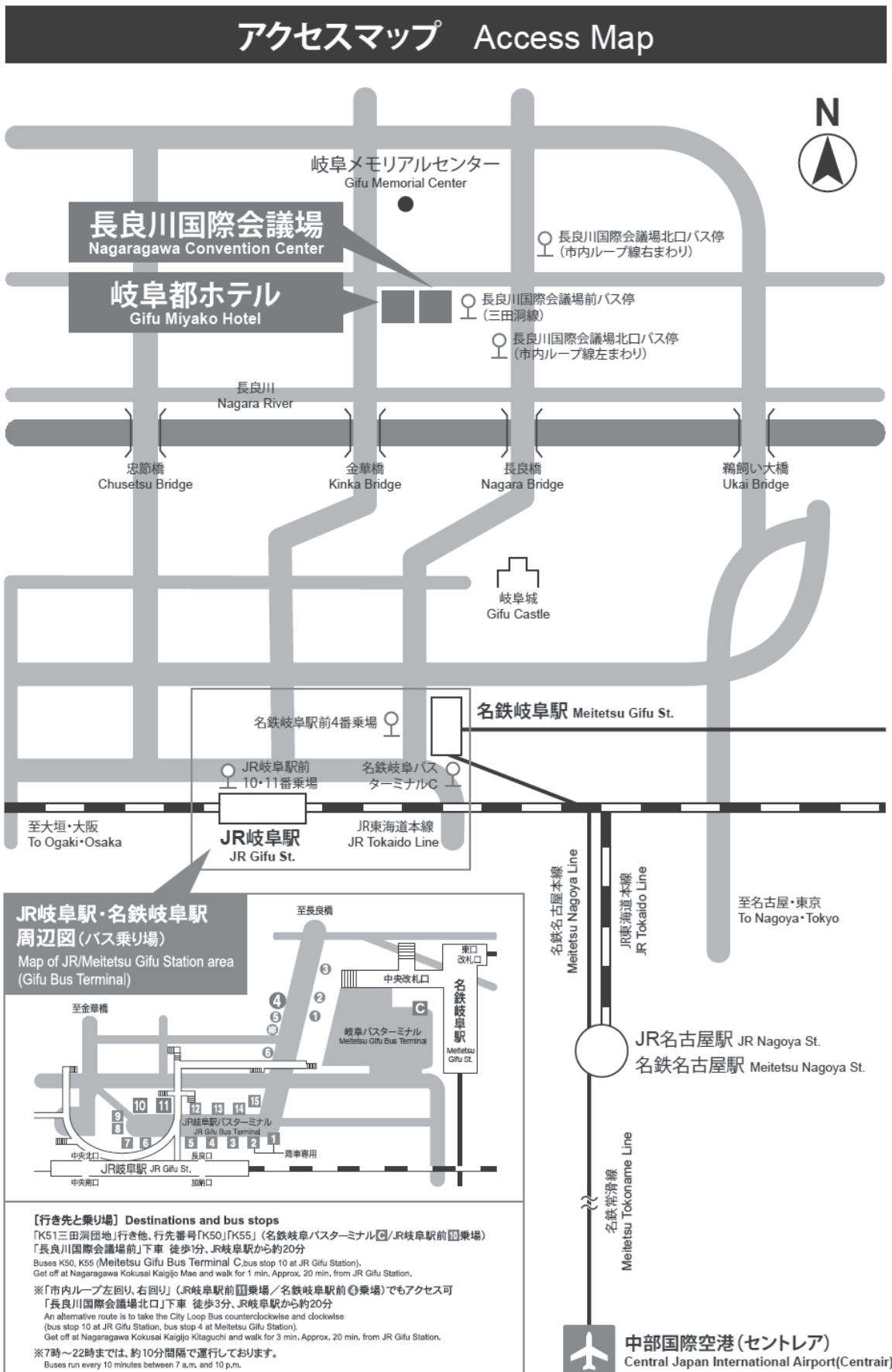
詳細は大会ホームページにてご案内いたします。

4. 駐車場について

駐車場は会場近くに約150台の無料駐車場がありますが、ぎふ清流国体開催と重なるため（水泳競技）、本学会専用として使用できません。駐車台数には限りがありますのでご注意ください。

5. 会場周辺の地図

会場の長良川国際会議場と都ホテルはJR岐阜駅・名鉄岐阜駅からバスで約20分，タクシーで約10分～15分です。



(平成23年3月27日改正、岐阜バス時刻表より) (From Gifu Bus timetable revised March 27, 2011)

論文の分類

I 生理科学的研究

- I-1 神経, 感覚
 - I-1-a 末梢神経
 - I-1-b 中枢神経
 - I-1-c 感覚
 - I-1-d 運動制御
- I-2 運動器
 - I-2-a 筋生理
 - I-2-b 筋生化学
 - I-2-c 骨, 関節
- I-3 呼吸, 循環
 - I-3-a 呼吸
 - I-3-b 心臓
 - I-3-c 末梢循環
- I-4 血液, 免疫
 - I-4-a 血液
 - I-4-b 免疫
- I-5 体液, 内分泌
 - I-5-a 体液, 汗, 尿
 - I-5-b 内分泌
- I-6 代謝
 - I-6-a エネルギー代謝
 - I-6-b 糖代謝
 - I-6-c 蛋白代謝
 - I-6-d 脂質代謝
- I-7 栄養, 消化
 - I-7-a 栄養
 - I-7-b 消化, 吸収
- I-8 形態, 体構成
- I-9 加齢, 性差
 - I-9-a 発育発達
 - I-9-b 老化
 - I-9-c 性差

I-10 環境

- I-10-a 温湿度
- I-10-b 気圧, 風圧
- I-10-c 低酸素
- I-10-d 高酸素

I-11 トレーニング

I-12 生活, 健康

- I-12-a 休養, 疲労
- I-12-b 健康管理
- I-12-c 疫学

I-13 バイオメカニクス

- I-13-a 力学的情報
- I-13-b 動作分析
- I-13-c その他

I-14 遺伝子

- I-14-a 遺伝子多型
- I-14-b 遺伝子制御

I-15 その他

II スポーツ医学的研究

II-1 スポーツと疾患

- II-1-a 呼吸器疾患
- II-1-b 循環器疾患
- II-1-c 代謝疾患
- II-1-d スポーツ外傷
- II-1-e スポーツ障害
- II-1-f スポーツ歯科
- II-1-g その他の疾患

II-2 リハビリテーション, 運動療法

II-3 薬物, ドーピング

II-4 スポーツ心理学

II-5 その他

大会までの重要な日程

演 題 登 録 期 間	4月10日(火)～5月31日(木) 正午まで
事 前 参 加 登 録 期 間	4月10日(火)～7月31日(火)
発 表 採 択 通 知 (E-mail)	7月上旬
予 稿 集 送 付	8月下旬
宿 泊 申 込 み	4月10日(火)～7月31日(火)
「体力科学6号」掲載用抄録登録期間	7月上旬(発表採択通知以降)～ 9月28日(金)正午まで
第 67 回 大 会	9月14日(金), 15日(土), 16日(日)
「体力科学1号」掲載用シンポジウム等 要 旨 登 録 締 め 切 り 日	9月28日(金)正午まで

平成23年度に査読をお願いした先生方は次の方々です

相澤勝治	加藤尊	菅原順	西嶋尚彦
赤間高雄	加藤敏明	杉浦崇夫	浜岡隆文
浅井仁	金子章	鈴木秀次	平川和文
足立稔	金子誠喜	鈴木英樹	藤原勝夫
荒尾孝行	狩野豊	関口浩文	船瀬広三
家光素行	紙上敬太	関谷昇史	麓正樹
石井好二郎	加茂美冬	舌内健二	本田亜紀子
石原健吾	川上泰雄	田内身政	前橋光明
乾信之茂	木内川淳	田中喜代次	増原光彦
井上潤信	北川哲夫	田中茂穂	町田井健
宇高山応信	木田勝乾	田中英登	松本孝朗
内山幸夫	金美芝	田中弘之	松鍋康子
浦辺敬一	木村みさか	田畑一行之	眞三野充
越中根直之	木目良太郎	田平卷弘	宮崎地元
海老田行男	久野譜也	田山直秀	宮本本直
大河原一憲	熊江秋三	富田居俊	宮本上太
大蔵倫博	倉持梨恵子	鳥藤久士	村瀬谷敏
大野善隆	黒川修素	内藤澤公	森谷昌明
大瀨修肇	神上月野史	中島潤子	柳山口太
大岡浩一朗	河野藤一	中田瑞由	山山本武
小笠原知雄	後藤寛秀	中田塘二	山吉芳田
小川貴志子	小峰山伴与志	中野康三	芳寄本邊
小熊祐子	小宮柳好生	中野真理子	
小田伸昇	小坂田和則	中村好男	
小野寺修生	佐川田亨	中成山公	
檜村規静	澤田賀健		
春本静夫			

日本体力医学会定例理事会（2011年9月）議事録

日 時：2011年9月15日（木）午後6時00分～7時30分

場 所：海峡メッセ下関 805会議室

議 長：吉岡利忠理事長

出席者：吉岡利忠，荒尾 孝，今泉和彦，碓井外幸，
小野寺昇，勝村俊仁，川原 貴，栗原 敏，
坂本静男，下光輝一，下村吉治，鈴木政登，
田中宏暁，永富良一，西平賀昭，
西牟田守各理事，小林康孝監事，
江橋 博（第66回大会長・山口），
古田善伯（第67回大会長・岐阜），
竹森 重（第68回大会実行委員長・東京）

欠席者：大野 誠，小林寛道，佐藤祐造，田中喜代次，
浜岡隆文，福永哲夫，森谷敏夫各理事，
能勢 博監事

はじめに江橋大会長より挨拶をいただいた。

【審議事項】

1. 前回議事録の承認

理事会開催中に各自で議事要旨の内容確認を行い、訂正等がある場合は申し出て頂くこととし、理事会終了後に承認とすることとした。また、議事録署名人として田中（宏暁）、永富両理事が指名された。

2. 2011年度庶務報告に関する件（小野寺総務委員長）

2011年8月31日現在、会員総数5,197名、新入会員355名、退会者384名（内自然退会204名）であるとの報告がなされた。また、3年以上会費未納者リストが提示され、評議員を除く3年以上会費未納者を自然退会とすることが承認された（3年以上会費未納者の評議員には再度督促を行うこととした）。

3. 2011年度会計（決算）に関する件（下光財務委員長）

収入の部 予算に比べて論文掲載料等収入が約21万円増収、雑収入が約27万円減収（科学技術振興機構から毎年入金されていた予稿集許諾料が掲載紙の廃刊によりなくなったため）となり、年度内収入は51,461,386円であった。

支出の部 事業費が予算より約470万円少なく済んだため、全体の支出が予算額より約485万円少なく済み、年度内支出としては47,132,872円であった。

以上により当年度収支としては約433万円の黒字となり、次年度繰越金は69,943,971円になったとの報告がなされた。引き続き小林監事より監査報告が行われ、2011年度決算が承認された。

また、小林監事より下記：2件について提言が行われ、今後も継続して検討を行うことが確認された。

- ・会員名簿の作成方法について
- ・若手会員の育成について

4. 2012年度会計（予算案）に関する件（下光財務委員長）

2012年度予算案が提示され、昨年度予算と大きく異

なる点として、下記の項目について説明が行われた。

- ・会費収入（正会員会費）…5月理事会で免除が決定された「東日本大震災の被災地（岩手県、宮城県、福島県）を発送先として指定されている学会員（約150名）の次年度（2012年度）年会費」について、予定収入金額から差し引いて計上を行った旨が説明された。
- ・名簿作成積立金取崩収入及び選挙積立金取崩収入…平成24年度は名簿作成及び役員選挙を行う年であるため、それぞれ積立金の取崩を行った旨が説明された。
- ・前回理事会の決定に基づき、欧文誌作成費（600万円）を事業費/学会誌発行費に計上した旨が説明された。
- ・前回理事会の承認に基づき、関東・近畿を除く各地方会補助金を各5万円増額して計上した旨が説明された。
- ・称号事務費…これまで管理費として計上されていた「称号事務費」について、碓井学術委員長からの要望により、平成24年度より、事業費（学術活動費/「称号運営費」）として計上を行った旨が説明された。また、それ以外の項目についてはほぼ前年度通り計上し、2012年度の当期収支としては887万円の赤字となる旨の説明がなされ、審議の結果、2012年度予算が承認された（収入合計57,010,000円、支出合計65,880,000円の予定）。

5. 名誉会員推薦について（小野寺総務委員長）

小野寺総務委員長より、内規に基づき下記：6名の名誉会員候補者を選考した旨が報告され、審議の結果、承認が行われた。

岩垣 丞恒，小林 修平，佐藤 祐造，中嶋 寛之，
三田 禮造，宮村 実晴

（敬称略 名誉会員2012年4月1日付）

また、上記：6名の名誉会員候補者を17日の評議員会・総会へ諮ることが確認された。

6. 評議員推薦に関する件（今泉委員長）

評議員選考委員会において申請者30名に対しての資格審査を行い、その結果30名全員が資格を有すると認めた旨の報告がなされ、2011年度評議員候補者として30名を評議員会に推薦することが承認された。

7. 第22回スポーツ医学研修会修了試験結果について（碓井称号委員長）

研修会を受講した内の12名が8月7日に修了試験（試験問題50問）を受け、12名全員が合格した旨と試験の概要について報告がなされ、承認された。

8. 2011年度健康科学アドバイザー新規称号認定者について（碓井称号委員長）

健康科学アドバイザーの新規申請者7名の氏名リストが提示され、承認された。

9. その他

- ・吉岡理事長より、5月理事会で決定が行われた「東日本大震災で被災された学会員の次年度(2012年度)年会費の免除」について、既に免除対象となっている学会員(岩手県、宮城県、福島県を発送先として指定されている学会員)以外であっても、『被災証明書』が発行されていれば会費免除の対象とすることが提案され、審議の結果、承認された。

- ・碓井学術委員長より、『健康科学アドバイザー称号既得者がスポーツ医学研修会を再受講する場合(再受講料：2万円(2011年7月理事会承認))の「健康科学アドバイザー称号更新にかかる再研修基準単位(10点)」の認定条件』について、下記の提案が行われ、審議の結果、承認された。

※健康科学アドバイザー称号既得者がスポーツ医学研修会を再受講し、下記1)～4)のいずれかの条件を満たした場合、称号更新にかかる再研修基準単位を10単位付与する。

- 1). 5年間の内に、基礎コース2日間と応用コース2日間の計4日間を再受講した場合
- 2). 5年間の内に、基礎コース2日間と応用コース2日間のいずれかを再受講し、修了試験に合格した場合。
- 3). 5年間のうちに、基礎コース1日間と応用コース1日間の計2日間を再受講し、修了試験に合格した場合。
- 4). その他(上記1)～3)以外の特異なケースがある場合：称号委員会による判断)

- ・碓井学術委員長より、名誉健康科学アドバイザーの新規贈呈対象者20名の氏名リストが提示され、承認された。

また、称号贈呈内規の改定について下記の提案が行われ、審議の結果、承認された。

(改定前)

- 第5条 本称号贈呈該当者で、既に日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を取得している者には称号選択の自由を与える。

(改定後)

- 第5条 既に日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を取得している者にも、本称号は贈呈されるものとする。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 総務委員会 (小野寺委員長)

- ・第66回大会総会で、第68回大会(東京)大会長(栗原 敏先生)の推薦を行い、承認を頂く予定である旨の報告がなされた。
- ・「利益相反小委員会」において、利益相反に関する規程の作成等を進めており、次回理事会に提出し、審議を頂く予定である旨の報告がなされた。
- ・ロゴマークについて、応募数が少ない(9月15日現在：2件)ため、12月まで募集期間を延長し、2012年3月までに、理事会で承認が行われた選考方法に基づき選考(決定)を行う予定である旨の報告がなされた。

- ・法人化について、現在、定款の改定を進めており、平成24年度総会に新定款(原案)の提出を行い、審議を頂く予定である旨の報告がなされた。
- ・公益財団法人日本体育協会より、本学会宛に「秩父宮記念スポーツ医・科学賞選考委員会委員」の推薦依頼があった旨が報告された。候補者について、総務委員会で選考を行い、先方に推薦することが提案され、承認された。

2) 編集委員会 (鈴木委員長)

- ・資料に基づき、9月1日に行われた臨時会議及び本理事会前に行われた編集委員会会議において、和文誌及び欧文誌(The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine(略称：JPFSM))の出版方針等について検討を行った旨及び欧文誌の投稿について10月中に本学会ホームページに案内を掲載した上で受付を開始する予定である旨が報告された。
- また、編集委員会の新委員として小宮山伴与志氏及び下村吉治理事を追加することが提案され、審議の結果、承認された。
- ・6月25日より、オンライン投稿システム(J-STAGE)がJ-STAGE2からJ-STAGE3に変更され、支障なく運営が行われている旨の報告がなされた。
- ・「体力科学」誌の投稿状況・査読状況等について報告がなされた。

3) 渉外委員会 (勝村委員長)

I) AFSM (アジアスポーツ医学会)

- ・2011年7月23日にタイのバンコクで理事会が開催された旨が報告された。

II) ECSS (ヨーロッパスポーツ科学会)

- ・本年度に実施されたECSS大会へのシンポジストの派遣について、来年度も実施を行う予定である旨の報告がなされた。またシンポジストから報告書の提出があった旨及び同報告書について「体力科学」誌に掲載を行う予定である旨の報告がなされた。
- ・第66回大会国際セッションへのECSSからの参加者数等について報告がなされた。
- ・次回大会が2012年7月4日～7日にベルギーのブルージュで開催予定である旨の報告がなされた。

III) ACSM (米国スポーツ医学会)

- ・本年度に実施されたACSM大会への参加助成制度について、来年度も実施を行う予定である旨の報告がなされた。また本年度助成対象者(3名)から参加報告書の提出があった旨及び同報告書について「体力科学」誌に掲載を行う予定である旨の報告がなされた。

4) 学術委員会

① スポーツ医学研修会実行委員会 (鈴木委員長)

- 7月1日～2日(基礎コース)、8月5日～6日(応用コース)の日程で慈恵医大の新橋校において開催された第22回スポーツ医学研修会の概要、受講者数について報告がなされた。

② プロジェクト研究委員会(碓井学術委員長)

- 平成24年度のプロジェクト研究の公募テーマの説明が行われ、本学会ホームページ及び「体力科学」

誌への掲載を通じて、下記の3つの分野から研究計画の募集を行う旨の報告がなされた。

- 1) 「特定保健指導(メタボ対策)に関する基礎的研究」
- 2) 「こどもの生活習慣と健康づくりに関する研究」
- 3) 「スポーツ科学(体力科学・体力医学)に関する研究」

5) 将来構想検討委員会(荒尾委員長)

配布資料に基づき、今期の委員会活動について、下記：5つの小委員会で活動を行った旨の報告がなされた。

<将来構想検討委員会小委員会>

- ◎学会運営検討小委員会
- ◎学会大会運営検討小委員会
- ◎ガイドライン小委員会
- ◎プロジェクト研究検討小委員会
- ◎セミナー検討小委員会

6) 倫理委員会(坂本委員長)

第66回大会(山口)において、シンポジウム：「健

康・スポーツ科学および教育分野における人対象の調査・研究倫理」を開催する旨の報告がなされた。

2. 第67回大会(岐阜)の準備状況(古田第67回大会長)

大会の準備状況等について報告がなされた。

会期：2012年9月14日(金) - 16日(日)

会場：長良川国際会議場及び都ホテル(岐阜)

3. 第68回大会(東京)について(栗原第68回大会長及び竹森第68回大会実行委員長)

栗原大会長及び竹森実行委員長より挨拶がなされた。

会期：2013年9月21日(土) - 23日(月/祝日)

4. その他

- ・小野寺総務委員長より、日本学術会議から本学会宛に『「東日本大震災における学協会の活動調査」に対する協力依頼』があった旨が報告され、永富理事が担当として対応を行うことが決定された。

日本体力医学会評議員会・総会(2011年9月)議事録

日 時：2011年9月17日(土) 午後4時00分～5時00分

場 所：海峡メッセ下関 A会場

総会議長：吉岡利忠 理事長

評議員会議長：福永 哲夫 評議員会長

議事に先立ち、下記の項目について報告・承認が行われた。

- ・江橋大会長より、挨拶と第66回大会概要の報告が行われた。
- ・吉岡理事長より、平成22年11月9日に行われた選挙により、福永哲夫氏が新評議員会長に選出された旨が報告され、福永評議員会長より挨拶が行われた。また、本年7月24日に加賀谷淳子理事(前評議員会長)が逝去された旨が報告され、黙祷が捧げられた。
- ・吉岡理事長より、江橋大会長に対して、本年3月11日に発生した東日本大震災に被災された学会員を対象に第66回大会参加費の免除措置が行われたことへの謝意が述べられた。また、学会として『被災された学会員(岩手県、宮城県、福島県を発送先として指定されている学会員及び「被災証明書」が発行されている学会員)を対象に2012年度年会費免除の特別措置を行うこと』が理事会で決定された旨が報告された。
- ・評議員会は委任状を含む参加者数が評議員の半数を超えており、成立することが確認された。

【審議事項】

1. 2011年度庶務報告に関する件(小野寺総務委員長)

1) 会員総数5,197名(2011年8月31日現在)

名誉会員	31名
正会員	4,960名
外国会員	28名
購読会員	173団体
賛助会員	5団体

(財)石本記念デサントスポーツ科学振興財団、

鶴岡印刷(株)、フクダ電子(株)、(株)ブルボン、

(財)明治安田厚生事業団

2) 役員数

評 議 員	507名
(内) 理事	23名
監 事	2名

3) 年度内入退会状況

新入会員	355名
退 会 者	384名
(内) 申 込 者	180名
自然退会	204名

2. 2011年度会計(決算)に関する件(下光財務委員長)

以下のとおり2011年度決算についての報告がなされた。

収入の部	予算に比べて論文掲載料等収入が約21万円増収、雑収入が約27万円減収(科学技術振興機構から毎年入金されていた予稿集許諾料が掲載誌の廃刊によりなくなったため)となり、年度内収入は51,461,386円であった。
支出の部	事業費が予算より約470万円少なく済んだため、全体の支出が予算額より約485万円少なく済み、年度内支出としては47,132,872円であった。

以上により当年度収支としては約433万円の黒字となり、次年度繰越金は69,943,971円になったとの報告がなされた。引き続き能勢監事より監査報告が行われ、2011年度決算が承認された。

3. 2012年度会計(予算案)に関する件(下光財務委員長)

2012年度予算案が提示され、昨年度予算と大きく異なる

る点として、下記の項目について説明が行われた。

- ・会費収入(正会員会費)…5月理事会で免除が決定された「東日本大震災の被災地(岩手県、宮城県、福島県)を発送先として指定されている学会員(約150名)の次年度(2012年度)年会費」について、予定収入金額から差し引いて計上を行った旨が説明された。
- ・名簿作成積立金取崩収入及び選挙積立金取崩収入…平成24年度は名簿作成及び役員選挙を行う年であるため、それぞれ積立金の取崩を行った旨が説明された。
- ・前回理事会の決定に基づき、欧文誌作成費(600万円)を事業費/学会誌発行費に計上した旨が説明された。
- ・前回理事会の承認に基づき、関東・近畿を除く各地方会補助金を各5万円増額して計上した旨が説明された。
- ・称号事務費…これまで管理費として計上されていた「称号事務費」について、碓井学術委員長からの要望により、平成24年度より、事業費(学術活動費/「称号運営費」)として計上を行った旨が説明された。

また、それ以外の項目についてはほぼ前年度通り計上し、2012年度の当期収支としては887万円の赤字となる予定である旨が説明され、収入合計57,010,000円、支出合計65,880,000円で承認された。

4. 名誉会員推薦に関する件(小野寺総務委員長)

名誉会員選考委員会(総務委員会兼務)にて名誉会員推薦内規に基づき以下の6名の候補者が推薦され、承認された。

岩垣 丞恒, 小林 修平, 佐藤 祐造, 中嶋 寛之,
三田 禮造, 宮村 実晴

(敬称略 名誉会員2012年4月1日付)

5. 評議員推薦に関する件(福永評議員会長)

2011年度評議員推薦に関しては30名の推薦があり、評議員選考委員会で評議員選考規定に従って審査を行い、その結果30名全員について評議員資格を有するとの報告に基づき、承認された。

新評議員(30名)

宇高 潤	内田 勝雄	大槻 伸吾
岡 浩一朗	甲斐 裕子	川上 泰雄
河野 寛	北畠 義典	神崎 素樹
真田 樹義	水藤 弘吏	関口 浩文
高見 京太	時澤 健	中島 幸則
長野 真弓	成田 和穂	沼尾 成晴
藤野 英己	白 優覧	町田 修一
松岡 敏男	宮下 政司	宮本 直和
本橋 紀夫	山津 幸司	吉岡 哲
吉川 貴仁	渡邊 完児	渡辺 一志

6. 第68回日本体力医学会大会(東京)開催について(小野寺総務委員長)

理事会から第68回(東京)大会長候補として栗原 敏理事(東京慈恵会医科大学学長)が推薦され、全会一致で承認された。引き続き竹森 重大大会事務局長から挨拶が行われた。

会期：2013年9月21日(土)～23日(月/祝日)

また、第69回大会(長崎)以降の大会開催予定の案内がなされた。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 総務委員会(小野寺委員長)

- ・本学会の法人化について、現在、定款の改定を進めており、平成24年度総会に新定款(原案)の提出を行い、審議を頂く予定である旨の報告がなされた。
- ・「利益相反小委員会」において、利益相反に関する規程の作成等を進めている旨の報告がなされた。
- ・本学会のロゴマークについて、応募数が少ない(9月15日現在：2件)ため、本年12月まで募集期間を延長する旨の報告がなされた。

2) 編集委員会(鈴木委員長)

- ・6月25日より、オンライン投稿システム(J-STAGE)がJ-STAGE2からJ-STAGE3に変更され、支障なく運営が行われている旨の報告がなされた。
- ・本年7月の理事会において欧文誌の発行が決定されたことに伴い、9月1日に欧文誌発行に関する臨時会議を、本大会中に編集委員会会議を開催し、和文誌及び欧文誌(The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine(略称：JPFMS))について検討を行い、下記の項目等について決定を行った旨が報告された。
- ・欧文誌は2012年に創刊し、2012年と2013年については年間4冊、2014年と2015年については年間5冊、2016年以降については年間6冊の発行を行う。
- ・2011年10月11日から、本学会ホームページに案内を掲載した上で、欧文誌の投稿受付を開始する。ただし、当面の間はオンライン投稿システム(J-STAGE)が使用できないため、メール添付の形式で受付を行う。
- ・編集委員会の再構成(編集委員会と欧文誌化小委員会の統合)を行い、同委員会内に新たに「和文誌編集委員会」と「欧文誌編集委員会」を構成し、「和文誌編集委員長」を鈴木理事が、「欧文誌編集委員長」を今泉理事が担当する(任期は共に編集委員会の任期である2012年3月31日まで)。
- ・上記の再構成に伴い、欧文誌小委員会委員であった小宮山伴与志氏及び下村吉治理事を編集委員会新委員として委嘱することとする(9月15日理事会承認済)。
- ・平成24年度より、和文誌・欧文誌共に査読の謝礼(図書券)は行わないこととし、その費用は査読に関わる費用に充当することとする。

3) 学術委員会

- ① スポーツ医学研修会実行委員会(碓井学術委員長)今年(第22回)の研修会について下記のとおり報告がなされた。
基礎コース 7月1日(金)・2日(土) 受講者23名
応用コース 8月5日(金)・6日(土) 受講者23名
修了試験 8月7日(日)

また、テキストの改訂を行った旨の報告がなされた。

②称号委員会（碓井学術委員長）

- ・スポーツ医学研修会の応用コース最終日に実施している修了試験について、受験者からの要望に基づき、過去問題集の作成を行った旨の報告がなされた。
- ・2011年度健康科学アドバイザー称号認定者(下記)の報告がなされた。
- ・新規7名(第21回研修会)
青木 昌弘 荒木 正治 岩永 好徳
田口 太郎 田中 香織 細川 賢司
柳沼 章弘
- ・新規7名(第22回研修会)
一場 友実 内田 誠一 三本木 千秋
須田 和裕 谷口 圭吾 中川 和昌
半田 常之
- ・継続13名
栗生田 博子 江川 賢一 小湊 千尋
澁澤 真美 進藤 大典 鈴木 政登
野田 美保子 長谷川 芳子 星川 佳広
前岡 修二 三宅 美知子 吉田 弘法
吉田 泰行
- ・称号贈呈内規及び理事会の決定に基づき、下記の20名の会員に対して、称号の贈呈を行う旨が報告された。

・贈呈20名

荒尾 孝 今泉 和彦 碓井 外幸
大野 誠 小野寺 昇 加賀谷 淳子
勝村 俊仁 川原 貴 小林 寛道
小林 修平 坂本 静男 下光 輝一
鈴木 政登 田中 喜代次 田中 宏暁
永富 良一 能勢 博 浜岡 隆文
本間 生夫 森谷 敏夫

③プロジェクト研究委員会（大野委員長）

2010年度のプロジェクト研究公募について、期間内に応募がなかったため、委員会内で検討を行った結果、応募期間の延長は行わず、「該当なし」とすることに決定した旨が報告された。また、平成24年度のテーマについて、学会誌及び本学会ホームページで案内を行っている旨の説明がなされた。

4) 渉外委員会（勝村委員長）

①FIMS（国際スポーツ医学会）について

2012年9月27日～30日に第32回大会がローマで開催される予定である旨が報告された。

②AFSM（アジアスポーツ医学会）について

2011年7月23日にタイのバンコクで理事会が開催された旨等が報告された。

③ACSM(米国スポーツ医学会)について

本年度に実施されたACSM大会への参加助成制度について報告がなされた。また本年度助成対象者から参加報告書の提出があった旨及び同報告書について「体力科学」誌に掲載を行う予定である旨の報告がなされた。

④ECSS（ヨーロッパスポーツ科学学会）との交流事業について

- ・2011年7月6日～9日にイギリス（リバプール）で大会が開催され、3名の交流シンポジストを派遣した旨及び2012年度もECSS大会（7月4日～7日：ベルギー（ブルージュ））へのシンポジスト派遣を実施する予定である旨が報告され、奮って応募を頂きたいとの依頼がなされた。また本年度助成対象者から参加報告書の提出があった旨及び同報告書について「体力科学」誌に掲載を行う予定である旨の報告がなされた。
- ・第66回大会国際セッションへのECSSからの参加者数等について報告がなされた。

5) 倫理委員会(坂本委員長)

9月16日に、公開シンポジウム：「健康・スポーツ科学および教育分野における人対象の調査・研究倫理」を開催した旨及びシンポジウムの内容について、「体力科学」誌に掲載を行う予定である旨が報告された。

6) 将来構想検討委員会(吉岡理事長)

現在、委員会内に5つのワーキンググループを作成し、活動を行っている旨の報告がなされた。

2. 第67回日本体力医学会大会(岐阜)の進捗状況（古田大会長）

第67回大会は2012年9月14日(金)～16日(日)に、長良川国際会議場及び都ホテル(共に岐阜市)で開催予定である旨等が報告された。

日本体力医学会編集委員会議事録

日時：平成24年1月20日(金) 16:00～17:30

場所：東京八重洲倶楽部 第11会議室

出席者：鈴木政登、今泉和彦、後藤勝正、小宮山伴与志、下村吉治、竹森 重、永富良一、西牟田守、藤井宣晴、水野眞佐夫、山内秀樹、中島幸則（編集事務局、白幡裕子、佐藤信之、本間佳子）

欠席者：猪飼哲夫、大野 誠、勝川史憲、勝村俊仁、川原 貴、小宮秀明、坂本静男、田中宏暁、西平賀昭、能勢 博、藤本繁夫、淵本隆文、藤谷博人、和気秀文

【報告および審議事項】

編集委員会開催に先立ち、編集委員長より平成23年9月1日および平成23年9月15日に開催された編集委員会議事録の確認がなされた。

1. 日本医学会・用語辞典39分科会はHP上で閲覧することが出来る。会員にIDとパスワードをお知らせする方法については、会費請求時に手紙を同封することに決まった。
2. 2012年4月からJ-STAGEとJournal@rchiveが統合することになった旨報告された。
3. 体力科学誌とJPFMS誌の投稿状況と発行状況が報

告された。

4. JPFISM誌を創刊号から閲覧できるようにするため、J-STAGEに申請することになった。
5. 第66回日本体力医学会大会予稿集には744編の研究が発表されたが、今回の体力科学第60巻6号に掲載された発表抄録件数は632編であり、112編の抄録が発表者より提出されず、掲載されなかった。この件については当面発表者の見識と意思に任せることとした。
6. 体力科学第61巻6号(2012)の掲載方法については従来の1頁に2編組から1頁に4編組に変更すること(28字×30行=840字)で了承された。
7. 体力科学誌は、今後紙質の厚さを一ランク薄くすることによって経費節減を諮ることです承された。
8. JPFISM誌刊行の経緯と現状および出版の意義について、編集事務局の白幡より資料に基づき説明された。これらの資料をHPに掲載することが了承された。

2012年度：Review(62編) + Short Review(16編)、
計 = 78編

2013年度：Review(49編) + Short Review(26編)、
計 = 75編

以上、2年間で合計153編の執筆受諾を頂いた。またJPFISM誌はアジアをリードする体力・スポーツ医学雑誌を目指すと共に、世界に通用する学術誌となるように、本学術誌から多くの研究者が引用するような内容にする旨の説明があった。さらに、インパクトファクターも1~2を目指す。当面は研究者の研究内容をReviewを中心に紹介する。その内

容を充実すること、毎号200頁程度の充実した学術雑誌となるよう編集することを目標とする。執筆者は現在活発に研究している研究者、海外の雑誌に投稿している方にも依頼する。また、若手で将来性の高い研究者にも執筆の機会を提供することなどが加えられ、承認された。

9. 2011年10月11日よりJPFISM誌の投稿受付を予定通り開始した。2012年1月17日現在で12編の論文を受付した。その中には、中国、韓国、台湾、ギリシャなど外国からの投稿が多く含まれていた。
10. JPFISM誌の2013年度以降については、ボリュームを維持するためにも、今回執筆辞退された研究者(23名)にも再度依頼する。また特集号を組んだり、Short reviewを中心に若手の執筆者を多くし、海外研究者への依頼、会員以外の研究者への依頼等について今後検討することになった。
11. 体力科学に掲載される依頼の教育講演や総説の別冊進呈は、第61巻より廃止する事が決まった。それに伴って「体力科学投稿規定」V.C.3項を削除することになった。
12. 査読を行う場合、著者の名前が見えるため、査読しづらいケースもあるが、他の学会もJ-STAGEも現在はオープンになってきている現状を踏まえ、現状維持で進めることとなった。
13. JPFISM誌に掲載された英文誌についても、学会賞を設けるように今後検討することとなった。
14. JPFISM誌編集委員会のメンバーについては現行の17名から25名程度に増員することで了承された。

2012.1.20

編集委員会・理事会承認

JPFISM刊行の経緯と現状および出版の意義

◆英文誌(JPFISM)刊行の経緯と現状

- 1) 2009年4月、日本体力医学会創立60周年記念事業の一環として吉岡利忠理事長の体制下で本学会の英文誌の刊行が企画された。
- 2) それを受け、編集委員会の中に欧文誌化小委員会(今泉和彦委員長)ができた。
- 3) 小委員会では、学術雑誌の刊行頻度・予算・出版内容・投稿規定など様々な点を検討した。その具体的内容を2011年9月の編集委員会、理事会および総会で了承された。それを受け、小委員会を解散し、新たにJPFISM誌編集委員会ができ、10月初旬には投稿規定が完成した。それを日本体力医学会のHPおよび体力科学第60巻5号にも掲載した。2011年10月11日より予定通りJPFISM誌の投稿受付を開始した。また、JPFISM誌編集委員会では、ReviewおよびShort reviewを執筆依頼する人選を依頼した。
- 4) ReviewおよびShort reviewの執筆依頼については、JPFISM編集委員長にその推薦の取り纏めが一任された。その結果を2012年1月20日に開催された編集委員会に諮られ、了承された。
- 5) 現時点では、153編の依頼論文が決定された。

- 6) 投稿論文はこれまでに12編にのぼり、まだ受理された論文はないが、査読は順調に行われている。
- 7) 論文投稿は国内のみならず、中国、韓国、台湾、ギリシャからも投稿されている。

◆JPFISM誌の出版とその意義

- 1) 当面はアジアをリードする体力・スポーツ医学雑誌を目指すと共に、世界に通用する学術雑誌となるように、他の研究者が本学術誌から引用されるような内容に方向づける。インパクトファクターも当面は1-2を目指す。
- 2) そのためには本学会に関連する研究者の研究内容をReviewで紹介すること、そしてその内容を充実した内容にすること、毎号200ページ程度の充実した学術雑誌となるよう編集すること等を当面の目標とする。
- 3) 執筆者は現在活発に研究されている研究者を積極的に依頼し、海外の論文に投稿している方にも依頼する。また、若手で将来性の高い研究者に執筆の機会を提供する。

The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMSM)

EDITORIAL BOARD

Kazuhiko IMAIZUMI (Editor-in-Chief)

Nobuharu FUJII	Shigeo FUJIMOTO	Katsumasa GOTO
Fuminori KATSUKAWA	Toshihito KATSUMURA	Hideaki KOMIYA
Tomoyoshi KOMIYAMA	Ryoichi NAGATOMI	Mamoru NISHIMUTA
Hiroshi NOSE	Masao MIZUNO	Shizuo SAKAMOTO
Yoshiharu SHIMOMURA	Masato SUZUKI	Shigeru TAKEMORI
Hidefumi WAKI		

Invited Review articles and Short review articles

Volume 1 (No. 1-4, 2012) and Volume 2 (No. 1-4, 2013)

Publication lists (Articles = 153 papers < 2012 : 78 and 2013 : 75 papers>)

◆Invited review and short review article contents (2012~2013)

Volume Number	(Year)	Review	Short review	Total
Vol. 1, No. 1	(2012)	13	4	17
Vol. 1, No. 2	(2012)	13	5	18
Vol. 1, No. 3	(2012)	17	3	20
Vol. 1, No. 4	(2012)	19 (n=62)	4 (n=16)	23 (n=78)
Vol. 2, No. 1	(2013)	15	7	22
Vol. 2, No. 2	(2013)	17	4	21
Vol. 2, No. 3	(2013)	10	5	15
Vol. 2, No. 4	(2013)	7 (n=49)	10 (n=26)	17 (n=75)
Total		111	42	153

◆JPFMSM : Vol.1, No. 1 (May, 2012) : 17 papers

<Review article>

1. **Resistance training and skeletal muscle hypertrophy (tentative), Naokata Ishii** (*Department of Life Sciences, Graduate School of Arts and Sciences, The University of Tokyo, Tokyo 153-8902, Japan*)
2. **Lifestyle-related disease and skeletal muscle, Akihiko Ishihara¹, Fumiko Nagatomo¹, Hidemi Fujino², Hiroyo Kondo³ and Kinsuke Tsuda⁴** (*¹Laboratory of Cell Biology and Life Science, Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University, Kyoto 606-8501, ²Division of Pathokinesiology, Department of Rehabilitation Science, Kobe University Graduate School of Health Sciences, Hyogo 654-0142, ³Department of Food Sciences and Nutrition, Nagoya Women's University, Aichi 467-8610 and ⁴Laboratory of Metabolism, Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University, Kyoto 606-8501, Japan*)
3. **Effect of exercise on HIF-1 and VEGF signaling, Hideki Ohno¹, Ken Shirato², Takuya Sakurai¹, Junetsu Ogasawara¹, Yoshikazu Sumitani¹, Shogo Sato¹, Kazuhiko Imaizumi², Hitoshi Ishida³ and Takako Kizaki¹** (*¹Department of Molecular Predictive Medicine and Sport Science, School of Medicine Kyorin University, Tokyo 181-8611, ²Laboratory of Physiological Sciences, Faculty of Human Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192 and ³Third Department of Internal Medicine, Kyorin University, School of Medicine, Kyorin University, Tokyo 181-8611, Japan*)
4. **How the motor image is influenced by sensory information, Kazuyuki Kanosue** (*Faculty of Sport Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192, Japan*)

5. **Stress responses in skeletal muscle, Fuminori Kawano, Naoya Nakai and Yoshinobu Ohira** (*Graduate School of Medicine, Osaka University, Osaka 565-0871, Japan*)
6. **Reflex modulation of rhythmic limb movements in humans, Tomoyoshi Komiyama¹ and Tsuyoshi Nakajima²** (*¹Division of Health and Sport Education, The United Graduate School of Education, Tokyo Gakugei University, Tokyo 184-8501 and ²Department of Rehabilitation for the Movement Functions, Research institute, National Rehabilitation Center for Persons with Disabilities, Saitama 359-8555, Japan*)
7. **Effects of a combined treatment with exercise and antihypertensive drugs on pressure response, plasma volume, and morphological findings of the hearts and kidney in spontaneously hypertensive rats, Masato Suzuki¹, Daisuke Shindo¹, Masaki Kimura² and Hidefumi Waki³** (*¹Department of Laboratory Medicine, The Jikeikai University School of Medicine, Tokyo 105-8461, ²Department of Pharmacotherapeutics, Keio University, Tokyo 105-8461 and ³Department of Physiology, Wakayama Medical University School of Medicine, Wakayama 641-8509, Japan*)
8. **Structure and function of skeletal muscle suggests general strategy of vertebrate locomotive systems, Shigeru Takemori** (*Department of Molecular Physiology, The Jikei University School of Medicine, Tokyo 105-8461, Japan*)
9. **Sensing molecule for low intensity exercise: Insights from AMPK alpha1 activation in skeletal muscle, Taro Toyoda¹, Tatsuro Egawa² and Tatsuya Hayashi²** (*¹Department of Cell Growth and Differentiation, Center for iPS Cell Research and Application, Kyoto University, Kyoto 606-8507 and ²Laboratory of Sports and Exercise Medicine, Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University, Kyoto 606-8501, Japan*)
10. **Heat stress and muscle function, Hisashi Naito, Toshinori Yoshihara, Ryo Kakigi, Noriko Sekine and Takamasa Tsuzuki** (*Graduate School of Health and Sports Science, Juntendo University, Chiba 270-1695, Japan*)
11. **Thermoregulation and exercise, Kei Nagashima** (*Body Temperature and Fluid Laboratory, Faculty of Human Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192, Japan*)
12. **Interval walking training to prevent the likelihood of disability and age associated diseases, Hiroshi Nose et al.** (*Department of Sports Medical Sciences, Shinshu University Graduate School of Medicine, Nagano 390-8612, Japan*)
13. **Exercise and myokines, Yasuko Manabe** (*Department of Health Promotion Sciences, Graduate school of Human Health Sciences, Tokyo Metropolitan University, Tokyo 192-0397, Japan*)

<Short review article>

14. **Autophagy in skeletal muscle, Tomonori Ogata** (*Faculty of Human Environmental Studies, Hiroshima Shudo University, Hiroshima 731-3195, Japan*)
15. **Effects of exercise on the hexosamine biosynthetic pathway and glycosylation, Ken Shirato¹, Takako Kizaki², Hideki Ohno² and Kazuhiko Imaizumi¹** (*¹Laboratory of Physiological Sciences, Faculty of Human Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192 and ²Department of Molecular Predictive Medicine and Sport Science, School of Medicine, Kyorin University, Tokyo 181-8611, Japan*)
16. **Warm-up procedures to enhance maximal dynamic muscle strength, Naokazu Miyamoto** (*Faculty of Sport Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192, Japan*)
17. **Muscle regeneration and its mechanism, Norio Motohashi and Louis M Kunkel** (*Department of Genetics, Children's Hospital Boston, Harvard Medical School, Boston, USA*)

◆JPFSM : Vol. 1, No. 2 (July, 2012) : 18 papers

<Review article>

1. **The Regulation of ventilation during exercise (tentative), Koji Ishida** (*Research Center of Health, Physical Fitness and Sports, Nagoya University, Aichi 464-8601, Japan*)
2. **Effects of exercise on macrophage functions, Takako Kizaki¹, Takuya Sakurai¹, Junetsu Ogasawara¹, Shogo Sato¹, Kazuhiko Imaizumi², Tetsuya Izawa³, Junichi Nagasawa⁴, Shukoh Haga⁵ and Hideki Ohno¹** (*¹School of Medicine, Kyorin University, Tokyo 181-8611, ²Faculty of Human Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192, ³Department of Spots and Health, Doshisha University, Kyoto 610-0394, ⁴The University of*

Electro-Communications Tokyo 182-8585 and ⁵Institute of Health and Sport Sciences, University of Tsukuba, Ibaraki 305-8577, Japan)

- 3. Functional and morphological characteristics of muscle-tendon units in humans, Yasuo Kawakami** (*Faculty of Sport Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192, Japan*)
- 4. Some aspects of heat stress on the plasticity of skeletal muscle cells (tentative), Katsumasa Goto¹, Yoshinobu Ohira² and Toshitada Yoshioka³** (*¹Department of Physiology, Graduate School of Health Sciences, Toyohashi SOZO University, Aichi 440-8511, ²Osaka University, Osaka 565-0871 and ³Hirosaki Gakuin University, Aomori 036-8577, Japan*)
- 5. Exercise and muscle protein metabolism, Yoshiharu Shimomura and Yasuyuki Kitaura** (*Laboratory of Nutritional Biochemistry, Department of Applied Molecular Biosciences, Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University, Aichi 464-8601, Japan*)
- 6. Neural control of human movement, Kimitaka Nakazawa** (*Department of Life Sciences, Graduate School of Arts and Sciences, The University of Tokyo, Tokyo 153-8902, Japan*)
- 7. Lactate metabolism and lactate transporter, Hideo Hatta, Yu Kitaoka and Daisuke Hoshino** (*Department of Sports Sciences, The University of Tokyo, Tokyo 153-8902, Japan*)
- 8. Blood flow in non-muscle tissues and organs, Naoyuki Hayashi** (*Institute of Health Science, Kyushu University, Fukuoka 812-8581, Japan*)
- 9. Rowing as a tool of both aerobic and resistant exercises for elderly people, Meiko Asaka, Hiroshi Kawano and Mitsuru Higuchi** (*Faculty of Sport Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192, Japan*)
- 10. Association of appetite and energy balance with exercise through endocrine mechanism (tentative), Takahiro Yoshikawa and Shigeo Fujimoto** (*Department of Sports Medicine, Osaka City University Graduate School of Medicine, Osaka 545-8585, Japan*)
- 11. Arterial stiffness and exercise training (tentative), Seiji Maeda** (*Faculty of Health and Sport Sciences, University of Tsukuba, Ibaraki 305-8577, Japan*)
- 12. Health promotion problems and physical activity (tentative), Motohiko Miyachi** (*National Institute of Health and Nutrition, Tokyo 162-8636, Japan*)
- 13. Central mechanisms of cardiovascular regulation during exercise-integrative functions of the nucleus tractus solitarius- (tentative), Hidefumi Waki** (*Department of Physiology, Wakayama Medical University School of Medicine, Wakayama 641-8509, Japan*)

<Short review article>

- 14. Body composition in children, Taishi Midorikawa** (*College of Health and Welfare, Obirin University, Tokyo 194-0294, Japan*)
- 15. Mechanisms of heat acclimation and tolerance induced by exercise training and heat exposure, Ken Tokizawa^{1,2}, Cheng-Hsien Lin² and Kei Nagashima^{2,3}** (*¹Faculty of Sport Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192, ²Sport Sciences for the Promotion of Active Life Waseda University, Saitama 359-1192 and ³Faculty of Human Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192, Japan*)
- 16. Effects of exercise on the brain function (tentative), Takuya Sakurai¹, Junetsu Ogasawara¹, Takako Kizaki¹, Yoshinaga Ishibashi¹, Tomonori Fujiwara², Kimio Akagawa², Tetsuya Izawa³, Zsolt Radák⁴ and Hideki Ohno¹** (*¹Department of Molecular Predictive Medicine and Sport Science, Kyorin University, School of Medicine, Tokyo 181-8611, Japan, ²Department of Cell Physiology, Kyorin University, School of Medicine, Tokyo 181-8611, Japan, ³Faculty of Health and Sport Science, Doshisha University, Kyoto 610-0394 and ⁴ Research Institute of Sport Science, Faculty of Physical Education and Sport Science, Semmelweis University, Hungary*)
- 17. Metabolic regulation of amino acids during exercise, Taro Murakami** (*Department of Nutrition, Shigakkan University, Aichi 474-8651, Japan*)
- 18. Exercise and molecular regulation of muscle regeneration, Mitsutoshi Kurosaka and Shuichi Machida** (*School of Physical Education, Tokai University, Kanagawa 259-1292, Japan*)

◆JPFMSM : Vol. 1, No. 3 (September, 2012) : 20 papers

<Review article>

1. **Recent advances in the adaptations of adipose tissue to physical activity, Tetsuya Izawa, Jun-etsu Ogasawara, Takuya Sakurai, Sachiko Nomura, Takako Kizaki and Hideki Ohno** (*Graduate School of Health and Sports Science, Doshisha University, Kyoto 610-0394, Japan*)
2. **Exercise and sleep, Sunao Uchida, Kohei Shioda, Yuko Morita, Chie Kubota and Masashi Ganeko** (*Faculty of Sport Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192, Japan*)
3. **Variable factors of total daily energy expenditure in humans, Kazunori Ohkawara¹, Yuki Hikihara², Tomoaki Matsuo³ and Masanobu Hibi⁴** (*¹Department of Health Promotion and Exercise, National Institute of Health and Nutrition Faculty of Engineering, Tokyo 162-0052, ²Chiba Institute of Technology Space Biomedical Research Office, Chiba 275-0016, ³Japan Aerospace Exploration Agency (JAXA) Health Care Food Research Laboratories, Tokyo 100-8260 and ⁴Kao Corporation Health Care Food Research Laboratories, Tokyo 131-8501, Japan*)
4. **Neurophysiology of emotion and exercise, Ichiro Kita** (*Department of Human Health Science, Tokyo Metropolitan University, Tokyo 192-0397, Japan*)
5. **How β_2 -adrenergic agonists induce skeletal muscle hypertrophy? Takashi Kitaura** (*Health Service Center, Sports Education Division, Kanazawa University, Ishikawa 920-1192, Japan*)
6. **Intracellular calcium accumulation and exercise induced muscle damage, Yutaka Kano¹, Takashi Sonobe², Tadakatsu Inagaki¹ and David C Poole³** (*¹Department of Engineering Science, Bioscience and Technology Program, University of Electro-Communications, Tokyo 182-8585, ²National Cardiovascular Center Research Institute, Department of Cardiac Physiology, Osaka 565-8565 and ³Departments of Anatomy, Physiology and Kinesiology, Kansas State University, Manhattan, Kansas, Tokyo 182-8585, Japan*)
7. **Voluntary movement and spinal cord (tentative), Kazuhiko Seki** (*Department of Neurophysiology National Institute of Neuroscience National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo 187-8502, Japan*)
8. **Effectiveness of exercise intervention and its limitations-demythologization and future research direction-, Kiyoji Tanaka¹ and Ryosuke Shigematsu²** (*¹Department of Sports Medicine, University of Tsukuba, Ibaraki 305-8574 and ²Faculty of Education, Mie University, Mie 514-8507, Japan*)
9. **Physical activity status in Japanese, Shigeho Tanaka** (*National Institute of Health and Nutrition, Tokyo 162-8636, Japan*)
10. **Exercise in a metabolic chamber, Kaito Iwayama and Kumpei Tokuyama** (*Division of Sports Medicine, School of Comprehensive Human Science, University of Tsukuba, Ibaraki 305-8574, Japan*)
11. **Regulation of muscle protein synthesis in response to exercise and nutrition, Naoya Nakai** (*Graduate School of Medicine, Osaka University, Osaka 565-0871, Japan*)
12. **Physical exercise-induced immune responses (tentative), Ryoichi Nagatomi** (*School of Medicine, Tohoku University, Miyagi 980-8576, Japan*)
13. **Exercise and mineral metabolism in young Japanese (tentative), Mamoru Nishimuta** (*Chiba Prefecture University of Health Science Division of Human Nutrition and Applied Physiology, Chiba 261-0014, Japan*)
14. **Cardiovascular regulation during exercise-contribution of peripheral reflex- (tentative), Takeshi Nishiyasu¹ and Masashi Ichinose²** (*¹Institute of Health and Sport Sciences, University of Tsukuba, Ibaraki 305-8574 and ²Meiji University School of Business Administration, Tokyo 101-8301, Japan*)
15. **Visualization of metabolite change in skeletal muscle by contraction using imaging mass spectrometry, Naoko Goto-Inoue, Mitsutoshi Seto and Nobuharu L. Fujii** (*Department of Health Promotion Sciences, Graduate School of Human Health Sciences, Tokyo Metropolitan University, Tokyo 192-0397, Japan*)
16. **Motor learning and brain functions (tentative), Hiroaki Masaki** (*Faculty of Sport Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192, Japan*)
17. **Behavioral regulation of breathing during exercise (tentative), Takahiro Yunoki** (*Department of Human Developmental Sciences, Faculty of Education, Hokkaido University, Hokkaido 060-0811, Japan*)

<Short review article>

- 18. Effect of physical exercise on lipolysis in white adipocytes, Junetsu Ogasawara¹, Takuya Sakurai¹, Takako Kizaki¹, Kazuto Takahashi², Yoshikazu Sumitani^{1,2}, Hitoshi Ishida², Tetsuya Izawa³, Koji Toshinai⁴ and Hideki Ohno¹** (¹Department of Molecular Predictive Medicine and Sport Science, Kyorin University, School of Medicine, Tokyo 181-8611, ²Third Department of Internal Medicine, Kyorin University, School of Medicine, Tokyo 181-8611, ³Department of Sports Biochemistry, Faculty of Health and Sports Science, Doshisha University, Kyoto 610-0394 and ⁴Neurology, Respiriology, Endocrinology, and Metabolism, Division of Internal Medicine, Faculty of Medicine, University of Miyazaki, Miyazaki, 889-1692, Japan)
- 19. Exercise and cytokines or Exercise and inflammation (tentative), Katsuhiko Suzuki** (Faculty of Sport Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192, Japan)
- 20. β_2 -Adrenergic receptor : A target for sports doping, Shogo Sato^{1,2}, Ken Shirato¹, Kaoru Tachiyashiki³, Takako Kizaki⁴, Hideki Ohno⁴ and Kazuhiko Imaizumi¹** (¹Laboratory of Physiological Sciences, Faculty of Human Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192, ²Japan Society for the Promotion of Science, Tokyo 102-8472, ³Department of Natural and Living Sciences, Graduate School of Education, Joetsu University of Education, Niigata 943-8512 and ⁴Department of Molecular Predictive Medicine and Sports Science, Kyorin University, School of Medicine, Tokyo 181-8611, Japan)

◆JPFSM : Vol. 1, No.4 (November, 2012): 23 papers

<Review article>

- 1. Skeletal muscle plasticity and adaptability to exercise and injury, Yasuharu Oishi¹ and Tomonori Ogata²** (¹Faculty of Education, Kumamoto University, Kumamoto 860-8555 and ²Faculty of Human Environmental Studies, Hiroshimashudo University, Hiroshima 731-3195, Japan)
- 2. The effects of exercise intensity on metabolic benefits and exercise adherence, Fuminori Katsukawa** (Sports Medicine Research Center, Keio University, Kanagawa 223-8521, Japan)
- 3. Effects of physical activity for preventing cardiovascular diseases, Toshihito Katsumura, Norio Murase, Takuya Osada and Ryotaro Kime** (Department of Sports Medicine for Health Promotion, Tokyo Medical University, Tokyo 160-8402, Japan)
- 4. Exercise and skeletal muscle glucose transport, Kentaro Kawanaka** (Niigata University of Health and Nutrition, Musculoskeletal system function research center, Niigata 950-3198, Japan)
- 5. Application to the sports sciences of bio-electrical impedance, Hideaki Komiya** (Faculty of Education, Utsunomiya University, Tochigi 321-8505, Japan)
- 6. Sympathetic neural adjustment to exercise, Mitsuru Saito** (Aichi Gakuin University, Department of Health Science, Faculty of Psychological and Physical Science, Aichi 470-0195, Japan)
- 7. The effect of exercise on lipid metabolism, Shizuo Sakamoto** (Faculty of Sport Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192, Japan)
- 8. The molecular mechanism of muscle regeneration, Kunihiro Sakuma¹ and Akihiko Yamaguchi²** (¹Research Center for Physical Fitness, Sports and Health, Toyohashi University of Technology, Aichi 441-8580 and ²School of Dentistry, Health Sciences University of Hokkaido, Hokkaido 061-0293, Japan)
- 9. Acute changes of neuromuscular condition following various voluntary muscle contractions, Azusa Uematsu¹, Hirofumi Sekiguchi², Hirofumi Kobayashi³, Tibor Hortobagyi⁴ and Shuji Suzuki³** (¹Osaka University of Health and Sport Sciences, Osaka 590-0496, Japan, ²Jobu University, Gunma 372-8588, Japan, ³Faculty of Human Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192, Japan and ⁴University of Groningen, Netherland)
- 10. Mild exercise-elicits hippocampal neurogenesis and its neuronal substrate, Hideaki Soya** (Laboratory of Exercise Biochemistry, Institute for Health & Sports Sciences, The University of Tsukuba, Ibaraki 305-8574, Japan)
- 11. Modification of thermoregulatory system by body fluid status, Akira Takamata** (Department of Environmental Health, Nara Women's University, Nara 630-8506, Japan)
- 12. Exercise prescription for endurance training, Hiroaki Tanaka** (Laboratory of Exercise Physiology, Faculty of Sports and Health Science, Fukuoka University, Fukuoka University Institute for Physical Activity, Fukuoka 814-0180, Japan)

13. **Multipotency and physiological role of skeletal muscle interstitium-derived stem cells**, Tetsuro Tamaki (*Muscle Physiology and Cell Biology Unit, Department of Regenerative Medicine, Division of Basic Clinical Science, Tokai University School of Medicine, Kanagawa 259-1193, Japan*)
14. **Impact of nutrition on muscle fiber type composition**, Koichi Nakazato and Arata Tsutaki (*Department of Exercise Physiology, Nippon Sport Science University, Tokyo 158-8508, Japan*)
15. **Central control of the cardiovascular system during exercise**, Kanji Matsukawa (*Department of Physiology, Graduate School of Health Sciences, Hiroshima University, Hiroshima 734-8551, Japan*)
16. **Adaptive responses on human skeletal muscle after exercise training**, Masao Mizuno (*Department of Human Developmental Sciences, Faculty of Education, Hokkaido University, Hokkaido 060-0811, Japan*)
17. **Effects of altitude training on physiological response and performance**, Isao Muraoka (*Faculty of Sport Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192, Japan*)
18. **Skeletal muscle dysfunction by hindlimb unloading**, Hideki Yamauchi, Yuki Takeda and Shino Tsuruoka (*Division of Physical Fitness, Department of Rehabilitation Medicine, The Jikei University School of Medicine, Tokyo 182-8570, Japan*)
19. **Heat stress and exercise (tentative)**, Fumio Yamazaki (*University of Occupational and Environmental Health, School of Health Sciences, Fukuoka 807-8555, Japan*)

<Short review article>

20. **Spatial perception and vestibular function**, Keisuke Kushiro (*Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University, Kyoto 606-8501, Japan*)
21. **Mechanism of skeletal muscle atrophy**, Shigetada Teshima-Kondo and Takeshi Nikawa (*Department of Nutrition and Physiology, Institute of Health Biosciences, University of Tokushima, Tokushima 770-8503, Japan*)
22. **Effect of exercise on adipokine (tentative)**, Shigeharu Numao (*Faculty of Sport Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192, Japan*)
23. **Physical activity and postprandial lipaemia (tentative)**, Masashi Miyashita¹, Stephen F Burns² and David J Stensel³ (*¹Faculty of Sport Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192, Japan, ²Nanyang Technological University, Physical Education and Sports Science Academic Group, Singapore and ³Loughborough University, School of Sport, Exercise and Health Sciences, United Kingdom*)

◆JPFMSM : Vol. 2, No. 1 (March, 2013) : 22 papers

<Review article>

1. **Functional magnetic resonance imaging of muscle as a tool for neuromuscular activation in exercise: advantage, disadvantage and application for sports medicine (tentative)**, Hiroshi Akima (*Research Center of Health, Physical Fitness & Sports, Graduate School of Education and Human Development, Nagoya University, Aichi 464-8601, Japan*)
2. **The effect of exercise and supplementation on the level of amino acids in skeletal muscles and liver**, Hajime Ohmori¹, Keisuke Ishikura² and Song-Gyu Ra¹ (*¹Graduate School of Comprehensive Human Sciences, University of Tsukuba, Ibaraki 305-8574 and ²Sports Research and Development Core, University of Tsukuba, Ibaraki 305-8574, Japan*)
3. **Changes in cerebral blood flow distribution during physiological stimulation (tentative)**, Shigehiko Ogoh (*Exercise Physiology Lab, Department of Biomedical Engineering, Toyo University, Saitama 350-8585, Japan*)
4. **How the spin on baseball influences performances of pitcher and batter**, Kazuyuki Kanosue et al. (*Faculty of Sport Sciences, Waseda University Saitama 359-1192, Japan*)
5. **Contribution of finger tactile information on postural control in human**, Motoki Kouzaki (*Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University, Kyoto 606-8501, Japan*)
6. **Reference value and prediction of sarcopenia in Japanese men and women (tentative)**, Kiyoshi Sanada (*Faculty of Sport and Health Science, Ritsumeikan University, Shiga 525-8577, Japan*)
7. **Aging and thermoregulatory responses**, Manabu Shibasaki¹, Kazunobu Okazaki² and Yoshimitsu Inoue³ (*¹Graduate School of Humanities and Sciences, Nara Women's University, Nara 630-8506, ²Research Center for Urban Health and Sports Osaka City University, Osaka 558-8585 and ³Faculty of Human Science, Osaka*)

International University, Osaka 570-8555, Japan)

8. **The same old but new theories in human voluntary motor control, Masataka Suzuki** (*Department of Psychology, Kinjo Gakuin University, Aichi 463-8521, Japan*)
9. **The role of gut-hypothalamus axis for feeding regulation (tentative), Koji Toshinai** (*Department of Neurology, Respiriology, Endocrinology and Metabolism, Faculty of Internal Medicine, Miyazaki Medical College, University of Miyazaki, Miyazaki 889-1692, Japan*)
10. **Molecular mechanism of bone formation, Akira Nifuji** (*Department of Pharmacology Tsurumi University School of Dental Medicine, Kanagawa 230-8501, Japan*)
11. **Human calorimetry; measurements of energy expenditure and substrate utilization using by a whole-room respiratory chamber (tentative), Masanobu Hibi** (*Kao Corporation Health Care Food Research Laboratories, Tokyo 131-8501, Japan*)
12. **Mitochondrial haplogroups associated with elite athlete status, Noriyuki Fuku and Masashi Tanaka** (*Department of Genomics for Longevity and Health, Tokyo Metropolitan Institute of Gerontology, Tokyo 173-0015, Japan*)
13. **Arterial function during various exercises, Hajime Miura** (*Institute of Socio-Arts and Sciences, University of Tokushima, Tokushima 770-8502, Japan*)
14. **Role of myoglobin in regulating respiration during muscle contraction (tentative), Kazumi Masuda, Hisashi Takakura and Tatsuya Yamada** (*Faculty of Human Sciences, Kanazawa University, Ishikawa 920-1192, Japan*)
15. **The innate immune function after severe exercise, and its mechanism (tentative), Hiromi Yano¹, Masataka Uchida¹ and Eri Oyanagi²** (*¹Laboratory of Cytology & Histology Department of Health and Sports Science, Kawasaki University of Medical Welfare, Okayama 701-0193 and ²Okayama University Graduate School, Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences, Okayama 700-8558, Japan*)

<Short review article>

16. **The regulatory mechanism of satellite cell migration in skeletal muscle (tentative), Minenori Ishido** (*Faculty of Education, Creative Arts and Sciences, Aichi University of Education, Aichi 448-8542, Japan*)
17. **Respiratory modulation of circulatory response to exercise (tentative), Keisho Katayama** (*Research Center of Health, Physical Fitness and Sports, Nagoya University, Aichi 464-0814, Japan*)
18. **Cardiovascular adaptations and training modes, Hiroshi Kawano** (*Faculty of Sport Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192, Japan*)
19. **Molecule and gene related to obesity and life style related disease, and exercise (tentative), Masaki Kimura** (*Department of Pharmacotherapeutics, Faculty of Pharmacy, Keio University, Tokyo 105-8512, Japan*)
20. **Effect of somatosensory inputs on the spinal reflex excitability during passive stepping, Tsuyoshi Nakajima^{1,2}, Kiyotaka Kamibayashi³ and Kimitaka Nakazawa⁴** (*¹Department of Rehabilitation for the Movement Functions, Research Institute, National Rehabilitation Center for Persons with Disabilities, Saitama 359-8555, ²Japan Society for the promotion of Science, Tokyo 102-8472, ³Graduate School of Systems and Information Engineering, University of Tsukuba, Ibaraki 305-8573 and ⁴Graduate school of Arts and Sciences, University of Tokyo, Tokyo 153-8902, Japan*)
21. **Relationship between increase in body temperature and central fatigue during exercise, Keiji Hayashi** (*Junior College, University of Shizuoka, Shizuoka 422-8021, Japan*)
22. **Cellular mechanisms regulating skeletal muscle hypertrophy, Mitsunori Miyazaki** (*Research Fellow of the Japan Society for the Promotion of Science, Tokyo 102-8472 and Graduate School of Health Sciences, Sapporo Medical University, Hokkaido 060-8556, Japan*)

◆JPFSM : Vol. 2, No.2 (May, 2013) : 21 papers

<Review article>

1. **Development and activities of fight against doping, Ayako Abe¹ and Takao Akama²** (*¹Graduate School of Sport Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192 and ²Faculty of Sport Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192, Japan*)
2. **Control of cell differentiation by mechanical stress, Jong-Hoon Park, Takashi Ushida and Takayuki Akimoto**

(Division of Regenerative Medical Engineering, Center for Disease Biology and Integrative Medicine, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo 113-0033, Japan)

3. **Exercise physiology of thoroughbred horses in Japan (tentative), Hajime Ohmura** (Sports Science Division Equine Research Institute, Japan Racing Association, Tochigi 320-0856, Japan)
4. **The biomarkers of sarcopenia in elderly people, Kishiko Ogawa** (Tokyo Metropolitan Institute of Gerontology, Tokyo 173-0015, Japan)
5. **Low back disorders among athletes and its prevention, Koji Kaneoka** (Faculty of Sport Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192, Japan)
6. **Metabolic and endocrine responses to hypoxic exposure, Kazushige Goto** (Faculty of Sport and Health Science, Ritsumeikan University, Shiga 525-8577, Japan)
7. **Molecular mechanisms of lifespan extension by calorie restriction, Takuya Chiba and Isao Shimokawa** (Department of Investigative Pathology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences, Nagasaki 852-8523, Japan)
8. **Recent health promotion policy in Japan, Teruichi Shimomitsu** (Department of Preventive Medicine and Public Health, Tokyo Medical University, Tokyo 160-8402, Japan)
9. **Neuromuscular control of lengthening and shortening contractions (tentative), Hirofumi Sekiguchi** (Jobu University, Gunma 372-8588, Japan)
10. **Molecular basis of muscle hypertrophy and atrophy-in relation to potential therapeutic targets for muscular dystrophy-, Naoki Ito^{1,2}, Yuko Miyagoe-Suzuki¹ and Shin'ichi Takeda¹** (¹Department of Molecular Therapy, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, Tokyo 187-8502 and ²Department of Biological Information, Tokyo Institute of Technology, Kanagawa 226-8501, Japan)
11. **Lipid metabolism and exercise, Takeshi Hashimoto** (Faculty of Sport and Health Science, Ritsumeikan University, Shiga 525-8577, Japan)
12. **Expression of monocarboxylate transporter after acute and chronic exercise, Taku Hamada** (Graduate School of Sport and Exercise Sciences, Osaka University of Health and Sports Sciences, Osaka 590-0496 Japan)
13. **Muscle oxygenation monitoring using near-infrared spectroscopy, Takafumi Hamaoka** (Faculty of Sport and Health Science, Ritsumeikan University, Shiga 525-8577, Japan)
14. **Anticipatory postural control during arm movement and floor translation, Katsuo Fujiwara** (Department of Human Movement and Health, Faculty of Medicine, Institute of Medical, Pharmaceutical and Health Sciences, Kanazawa University, Ishikawa 920-8640, Japan)
15. **The injury mechanism of the non contact anterior cruciate ligament rupture, Toru Fukubayashi** (Faculty of Sports Science, Waseda University, Saitama 359-1192, Japan)
16. **Plasticity of diaphragm muscle (tentative), Hirofumi Miyata** (Department of Biological Science, Graduate School of Medicine, Yamaguchi University, Yamaguchi 755-8505, Japan)
17. **The role of calcium in skeletal muscle contraction, Masanobu Wada, Mai Kuratani and Keita Kanzaki** (Graduate School of Integrated Arts and Sciences, Hiroshima University, Hiroshima 739-8521, Japan)

<Short review article>

18. **Association of macrohage with exercise-induced enhancement of insulin sensitivity in skeletal muscle, Shin-ichi Ikeda, Yosifumi Tamura and Hirotaka Watada** (Department of Metabolism and Endocrinology, Sportology Center, Juntendo University Graduate School of Medicine, Tokyo 113-8421, Japan)
19. **Effects of exercise on glucagon-like peptide-1 (GLP-1), Shin-ya Ueda** (National Cerebral and Cardiovascular Center Research Institute, Osaka 565-8565, Japan)
20. **Exercise, nutrition and iron status, Takako Fujii¹, Tatsuhiro Matsuo² and Koji Okamura¹** (¹Graduate School of Sport Sciences, Osaka University of Health and Sport Sciences, Osaka 590-0496 and ²Faculty of Agriculture, Kagawa University, Kagawa 761-0795, Japan)
21. **α -Actinin isoform and skeletal muscle activity, Yuji Ogura¹ and Hisashi Naito²** (¹Department of Physiology St. Marianna University School of Medicine, Kanagawa 216-8511 and ²Department of Exercise Physiology School of Health and Sports Science, Juntendo University, Chiba 270-1695, Japan)

◆JPFMSM : Vol. 2, No.3 (August, 2013) : 15 papers

<Review article>

1. **Health promotion and aquatic exercise, Sho Onodera** (*Kawasaki University of Medical Welfare, Okayama 701-0193, Japan*)
2. **Physical activity and cognitive function in older adults (tentative), Tomohiro Okura and Ji-Yeong Yoon** (*Health, Physical, Education and Sport Sciences, University of Tsukuba, Ibaraki 305-8574, Japan*)
3. **Sarcopenia and physical functions in older adults, Mi-Ji Kim and Shoji Shinkai** (*Tokyo Metropolitan Institute of Gerontology, Tokyo 173-0015, Japan*)
4. **Molecular and cellular mechanisms of fever, Kiyoshi Matsumura** (*Department of Biomedical Engineering, Osaka Institute of Technology, Osaka, Osaka 535-8585, Japan*)
5. **Breathing rhythm and emotion, Ikuo Homma** (*The Second Department of Physiology, Showa University School of Medicine, Tokyo 142-8555, Japan*)
6. **Exercise, nutrition, and aging in the regulation of muscle protein synthesis, Koji Sato and Satoshi Fujita** (*Faculty of Sport and Health Science, Ritsumeikan University, Shiga 525- 8577, Japan*)
7. **MUAP from surface electrode during voluntary muscle contraction, Shigeru Morimoto** (*Faculty of Education and Human Sciences, Yokohama National University, Kanagawa 240-8501, Japan*)
8. **Responses of sympathetic nerve activity and cardiovascular function to exercise, Kenju Miki¹ and Misa Yoshimoto²** (*¹Nara Women's University, Nara 630-8506 and ²National Cerebral and Cardiovascular Center Research Institute, Osaka 565-8565, Japan*)
9. **Spatiotemporal adaptability of the human perceptuo-motor system, Makoto Miyazaki** (*Research Institute For Time Studies, Yamaguchi University, Yamaguchi 753-8511, Japan*)
10. **Validity for measuring exhaled trace gases during exercise, Yoshifumi Yasuda** (*Health Science Center, Toyohashi University of Technology, Aichi 441-8580, Japan*)

<Short review article>

11. **Effects of intermittent hypobaric hypoxic exercise on cardiovascular adaptations (tentative), Futoshi Ogita** (*National Institute of Fitness and Sports in Kanoya, Kagoshima 891-2393, Japan*)
12. **Regulation of the superficial venous vessel responses during exercise (tentative), Anna Ooue and Tomoko Sadamoto** (*Research Institute of Physical Fitness, Japan Women's College of Physical Education, Tokyo 157-8565, Japan*)
13. **Natriuretic peptide and exercise, Kazuhiro Suda** (*Tokyo Institute of Technology, Graduate School of Decision Science and Technology, Tokyo 152-8552, Japan*)
14. **Effects of exercise and diet on insulin sensitivity, Masaru Nagasaki** (*Department of Health Science, Faculty of Psychological and Physical Science, Aichi Gakuin University, Aichi 470-0915, Japan*)
15. **Exercise and oxidative stress in hypoxia, Junichi Nagasawa¹, Takako Kizaki² and Hideki Ohno²** (*¹Bioscience and Technology Program, Department of Engineering Science, Graduate School of Informatics and Engineering, The University of Electro-Communications, Tokyo 182-8585 and ²School of Medicine, Kyorin University, Tokyo 181-8611, Japan*)

◆JPFMSM : Vol.2, No. 4 (November, 2013) : 17 papers

<Review article>

1. **Lifestyle diseases-related gene polymorphism and individual differences in responding to exercise, Motoyuki Iemitsu** (*Faculty of Sport and Health Science, Ritsumeikan University, Shiga 525-8577, Japan*)
2. **A role of exercise and food components in bone health (tentative), Yoshiko Ishimi** (*Department of Food Function and Labeling, National Institute of Health and Nutrition, Tokyo 162-8636, Japan*)
3. **Uric acid and kidney, Hiroyuki Sakurai** (*Department of Pharmacology and Toxicology, Kyorin University School of Medicine, Tokyo 181-8611, Japan*)
4. **Role of nutrient transporters in life-style related diseases, Yutaka Taketani, Hironori Yamamoto, Hisami Okumura-Yamanaka and Eiji Takeda** (*Department of Clinical Nutrition, Institute of Health Biosciences, University of Tokushima Graduate School, Tokushima 770-8503, Japan*)

- 5. Bioavailability of dietary antioxidants and their function on oxidative stress control, Rie Mukai and Junji Terao** (*Department of Food Science, Institute of Health Biosciences, Tokushima University Graduate School, Tokushima 770-8503, Japan*)
- 6. Eccentric contraction-induced muscle damage and adaptation, Kazunori Nosaka** (*School of Exercise and Health Sciences, Edith Cowan University, Joondalup, WA 6027, Australia*)
- 7. Age-related sarcopenia and amino acid nutrition (tentative), Hisamine Kobayashi** (*Institute for Innovation, Ajinomoto Co., Inc., Kanagawa 210-8681, Japan*)

<Short review article>

- 8. Function and plasticity of human tendons, Masaki Ishikawa, Kanae Sano, Nobue Ayaka, Yoshito Danno, Tomoyuki Baba and Akira Ito** (*Graduate School of Sport Sciences, Osaka University of Health and Sport Sciences, Osaka 590-0496, Japan*)
- 9. Mechanisms underlying ultraviolet radiation-induced dermal aging, Shigeo Kawada** (*Laboratory of Tissue Plasticity Science, Department of Life Sciences, Graduate School of Arts and Sciences, The University of Tokyo, Tokyo 153-8902, Japan*)
- 10. Influence of amino acid supplementation on capillary growth (tentative), Junichi Suzuki** (*Laboratory of Exercise Physiology, Course of Sports Education, Department of Education, Iwamizawa Campus, Hokkaido University of Education, Hokkaido 068-8642, Japan*)
- 11. Regulation of skeletal muscle GLUT-4 expression by exercise and nutritional stimuli (tentative), Shin Terada** (*Central Research Laboratory, The Nisshin OilliO Group, Ltd., Kanagawa 239-0832, Japan*)
- 12. Effects of glutamine supplements as an antioxidant and exercise performance, Mioko Nagashima** (*National Institute of Fitness and Sports in Kanoya, Kagoshima 891-2393, Japan*)
- 13. Physical activity and bone metabolism, Suguru Torii** (*Faculty of Sport Sciences, Waseda University, Saitama 359-1192, Japan*)
- 14. The effects of water exercise on cardiovascular responses (tentative), Takeshi Matsui** (*Faculty of Economics, Nihon Fukushi University, Aichi 470-3295, Japan*)
- 15. Reactive oxygen species and endurance training-induced adaptation, Hideki Matoba** (*Faculty of Integrated Arts and Sciences, The University of Tokushima, Tokushima 770-8502, Japan*)
- 16. Mechanical stress of skeletal muscle: Influences of intramuscular pressure, Noriteru Morita¹, Shingo Takada² and Koichi Okita³** (*¹Hokkaido University of Education, Iwamizawa, Hokkaido 068-8642, ²Hokkaido University Graduate School of Medicine, Hokkaido 060-8638 and ³Hokusho University, Hokkaido 069-8511, Japan*)
- 17. Modulation of core body temperature and energy metabolism by amino acids, Ippei Yamaoka** (*Otsuka Pharmaceutical Factory, Inc, Research and Development Center, Naruto Institute, Tokushima 772-8601, Japan*)

訃 報

鈴木正成（筑波大学名誉教授・元早稲田大学スポーツ科学学術院特任教授）会員が、去る2011年12月10日にご逝去されました。茲にお知らせし、謹んでご冥福をお祈り致します。

平成24年度日本体力医学会プロジェクト研究公募について

日本体力医学会プロジェクト研究（以下、プロジェクト研究）は、平成9（1997）年度に発足しました。日本学術会議体力科学研究連絡委員会から「日本人のための健康体力指標の標準化、及び健康増進・疾病予防のための身体活動に関する推奨・指針作成への提言」が出されたことを受けて、平成16年度からこの提言に関わるプロジェクト研究を公募して参りましたが、平成24年度の公募研究テーマが下記のごとくに決定しましたので、奮って応募いただくようご案内致します。

プロジェクト研究の全体像

1. プロジェクト研究は、日本人の健康維持・増進に関連した体力及び身体活動・運動を主題とした研究であり、その成果として、社会に対して、勧告、指針などの提言がまとめられるものでなければならない。
2. 平成24年度は下記のいずれかの研究テーマに関する研究課題に限定する。
 - 1) 特定保健指導(メタボ対策)に関する基礎的研究
 - 2) こどもの生活習慣と健康づくりに関する研究
 - 3) スポーツ科学(体力科学・体力医学)に関する研究
3. 多施設が共同研究を行うことにより初めて成果が出るような研究プロジェクトであること。その際に各研究者の役割を明確にすることが必要である。
4. プロジェクト研究の選考は学術委員会の下部組織であるプロジェクト研究委員会が行う。
5. プロジェクト研究の申請は、研究代表者（評議員）と数名の発起人が、研究計画書を作成してプロジェクト研究委員会に提出する。
6. プロジェクト研究委員会では提出された研究計画書を審査して、採択する研究を決定する。なお、本年度の新規採用可能件数は1～2件である。
7. 採択された研究の代表者は研究計画を体力科学に掲載して、研究協力者を募集することも可能である。その場合には、研究協力者の採択は研究者と発起人に一任する。また、プロジェクト研究委員会が必要と認める場合には、他の研究者を指名して加えることもできる。
8. プロジェクト研究委員会は研究計画に基づき研究費

を配分する。研究費は主に調査や資料の収集などに当てるものとする。年間およそ100万円程度を限度として配分する。プロジェクト研究の研究成果は3年以内でまとめ、(1)プロジェクト研究委員会の審査を経て、理事会の承認を得て、(2)「体力科学」および日本体力医学会大会において公表する。（注：学会の公式見解とするかどうかは、理事会で審議する）

プロジェクト研究に応募される方は、研究代表者（評議員に限る）と数名の発起人が、以下の項目に沿って研究計画書をA4版にワードプロセッサで書き、平成24年4月30日までに下記の提出先にお送りください（電子メールによる提出も可）。研究計画の採否は追って、研究代表者に通知します。

研究計画書

1. 研究代表者名（署名捺印してください）、所属部署・所属大学など、住所、最終学歴（卒業大学または修了大学）と年月日、学位の有無、連絡先の住所、電話、ファックス、電子メールアドレス
2. 研究発起人名、所属部署・大学、最終学歴（卒業大学または修了大学）と年月日
3. 研究課題
4. 研究目的（200字以内）
5. 研究期間（3年以内）
6. 研究計画（200字以内）
7. 研究方法（400字以内）
8. 期待される研究成果（200字以内で具体的に、例、ガイドライン）
9. 研究費の使途（会合費、通信費、印刷代などの費目）に分けて概算を出してください
10. この研究に関するこれまでの成果（原著、著書などの研究業績）を番号をふって書いてください

提出先 大野 誠

日本体力医学会プロジェクト研究委員会委員長
〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1
日本体育大学大学院 健康科学・スポーツ医科学系
TEL：03-5706-0814 FAX：03-5706-0814
E-mail：m_ohno@nittai.ac.jp

第23回日本体力医学会スポーツ医学研修会のご案内

本研修会は、基礎コースと応用コースに分かれ、それぞれ2日間、講義と実習を行います。救急救命法、健常者や生活習慣病罹患患者に対する運動処方、筋力トレーニングおよびテーピングなど実習を主体とした研修会です。メタボリックシンドローム危険因子保持者などを対象とした運動指導等であり、アスリート対象ではありませんのでご注意ください。

尚、平成23年度より新たな講師陣を加え、1) 喫煙や環境汚染および加齢による慢性閉塞性呼吸器疾患(COPD)の運動による改善効果の機序や運動処方、2) 降圧剤など薬物治療受診者の運動指導の適否、配慮すべき事項など、3) 機能的食品と運動療法併用によるメタボリックシンドローム危険因子改善効果など、4) 体組成とくに内臓脂肪の意義およびその測定実習、などの内容を加えました。

全てのコースを受講して修了試験に合格し、所定の手続きをとると日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を受けることができます。称号取得を希望される方は、日本体力医学会に入会し、会員になっていただく必要があります。

この研修会には日本体力医学会の会員でない方も参加できます。また、他の研修会を受講し資格や称号を取得された方で、それらの更新に必要な認定単位取得のために本研修会を受講されても結構です。受講証明書を発行いたします。

多数の方のご参加をお待ちしております。尚、実習を行う関係上、各年度の募集人数に制限がありますことをご了解ください。

平成23年12月1日

日本体力医学会学術委員会・スポーツ医学研修会実行委員会

鈴木政登 碓井外幸 太田 真 中島幸則

1. 会 場

会場は東京慈恵会医科大学西新橋校各会議室・大学1号館6F機能系実習室などです。

2. 日時および研修カリキュラム

(I) 基礎コース

運動生理学やスポーツ医学等の基礎的事項については既に習得されていることを前程にさらに進んだ生理学（神経・筋、呼吸、循環、代謝など）や生化学、栄養学および運動処方の基礎などを中心に学びます。ここで学んだことを基盤として、

(II) 応用コースへと進みます。

平成24年

7月6日(金)

9：00～10：30	運動と神経・筋
10：40～12：10	運動と呼吸
12：10～13：10	昼休み
13：10～14：40	運動と代謝（水・電解質およびエネルギー代謝）
14：50～16：20	運動と栄養
16：30～18：00	運動と循環
18：00～	懇親会（会費3000円、参加自由）

7月7日(土)

9：00～10：30	運動処方の基礎
10：40～12：10	生活習慣病の運動処方（肥満・糖尿病・高脂血症）
12：10～13：10	昼休み
13：10～17：00	救急救命実習（人体模型を用いた実習）

(II) 応用コース

このコースの講義では、有疾患または薬物治療中の場合の運動適用の可否や運動指導の実際について学びます。実習では、自転車エルゴメータによる運動負荷試験を行い、それと関連した血液・尿検査結果データを参考に運動処方を作成する。さらに、高齢者や喫煙習慣保持者の健康を脅かす慢性閉塞性呼吸器疾患を反映する呼吸機能検査、糖尿病性腎症等の腎機能異常の有無を知る尿検査、およびメタボリックシンドローム罹患の上流因子として重要な内臓脂肪蓄積状態を知る体脂肪測定法などを実習します。その他に、テーピングや筋力トレーニング実習なども行われます。

8月3日(金)

- 9:00~10:30 高血圧症およびその他の循環器疾患の運動処方
10:40~12:10 運動器疾患の運動処方
12:10~13:10 昼休み
13:10~17:00 運動処方実習（自転車エルゴメータを用いた運動負荷試験、心電図記録、呼吸機能検査、尿検査、体組成測定実習）

8月4日(土)

- 9:00~12:00 運動処方の作成（前日の運動負荷試験で得られたデータを基に各被検者の運動処方を作成し、実施させる）
12:00~13:00 昼休み
13:00~17:00 テーピングおよび筋力トレーニング実習

8月5日(日)

- 10:00~12:00 修了試験

注意：講師の都合で講義時間割りが前後することがありますので、ご了承下さい。

3. 修了試験と称号について

基礎コースおよび応用コースの両コースを受講した方は、所定の修了試験を受験することができます。修了試験の合格者には合格証を発行いたします。また、修了試験合格後、所定の手続きを経て、日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を取得することができます。

修了試験は平成24年8月5日(日)10:00~12:00に東京慈恵会医科大学で行います。

4. テキスト

担当講師が用意した講義資料を簡略なテキスト化し、それに準じて講義が行われます。

5. 受講料

受講料は（Ⅰ）基礎コース、（Ⅱ）応用コースおよび修了試験の全てを受講する場合は50,000円、単科コース（基礎コース、応用コースの各コースを単独受講）を受講する場合はそれぞれ25,000円（2日間コース）です。2コースの受講を原則としますが、定員に余裕があれば単科コースの受講も可能です。その年度に受講しなかったコースを次年度以降に受講すれば、全コース受講後修了試験を受験することができます。尚、学生受講者は30,000円（基礎・応用コース）と致します。ただし、学生証の呈示が必要です。

6. 受講資格と定員

スポーツ医学研修会受講資格は特に定めませんが、2コース受講後に行われる修了試験に合格し、日本体力医学会“健康科学アドバイザー”の称号取得申請を希望する方は日本体力医学会会員でなければなりません。但し、自己研鑽のために本研修会を受講される方や他団体の資格や称号の登録更新のための認定単位取得が目的の場合は日本体力医学会会員になる必要はありません。定員は各コース40名です。

7. その他

健康運動指導士、実践指導者の登録更新に必要な履修単位90分1単位（講義題目8科目認定）およびTHPではそれぞれ基礎コース5単位、応用コース5単位が認定されます。

8. 申し込み方法

本研修会受講希望者は、葉書またはFAXで、日本体力医学会スポーツ医学研修会を受講したい旨を下記までご連絡下さい。仮申込受付後、申込書類をお送りいたしますので要領に従いお申込下さい。なお、申込に際し、受講料をご案内の口座に2週間以内にお振込みください。お振込みをもって正式な申し込みとさせていただきます。定員に達し次第、締め切らせていただきますのでご了承下さい。受講票、受講料などの連絡は、受講通知とともに後日ご案内させていただきます。

なお、申し込みが20名に満たない場合には中止させていただきますのでご了承ください。その時には受講料を払い戻しますが、本人都合による返金には応じられませんのであらかじめご了承下さい。

9. 申込書送付先および問い合わせ先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-18 小石川アーバン4F
 一般社団法人 学会支援機構内
 日本体力医学会スポーツ医学研修会 係
 電話：03-5981-6011 FAX：03-5981-6012
 E-mail：jspfsm@asas.or.jp

第23回 日本体力医学会スポーツ医学研修会 仮申込書

下記の通り、研修会の受講を申します。(該当する□にレ印をつけてください。)

- 第23回基礎コース
 第23回応用コース
 試験

氏 名

連絡先 〒 -

TEL :

FAX :

第2回 日本基礎理学療法学会学術大会案内

第2回日本基礎理学療法学会学術大会を下記の要領で開催いたしますので、ご案内申し上げます。

1. 日時：平成24年5月24日(木) 14:00~18:30
2. 場所：兵庫医療大学 オクタホール
(〒650-8530 神戸市中央区港島1丁目3-6)
<http://www.huhs.ac.jp/index.php/access/wide-map.html>
3. テーマ 「基礎研究から考える理学療法の現状と今後の展開」
第二回「移植・再生医療と理学療法」

特別講演

国内初の脳死心臓移植執刀医からの提言

講師 松田 暉 先生 (兵庫医療大学 学長)

パネルディスカッション

オーガナイザー：石田和人 (名古屋大学)

玉木 彰 (兵庫医療大学)

◆傷害筋への間葉系幹細胞移植後の理学療法

蛭川 菜々 先生

(名古屋大学医学系研究科 博士課程後期課程)

◆筋ジストロフィーへの細胞移植とリハビリテーション

櫻井 英俊 先生

(京都大学iPS細胞研究所 臨床応用研究部門)

◆臓器移植の現状とリハビリテーション

玉木 彰 先生

(兵庫医療大学大学院医療科学研究科)

4. 参加費 (事前申し込み不要)

会員・臨時会員 2,000円 学生会員 500円

非会員 2,500円 学生非会員 1,000円

5. 一般演題募集締め切り

平成24年2月29日(水) 当日消印有効

一般演題募集領域

1. 動物, 培養細胞対象の研究
2. ヒト対象の運動制御・学習に関する研究
3. ヒト対象の身体運動学関係に関する研究
4. ヒト対象の機能と形態に関する研究

* 詳細は学会ホームページをご覧ください。

URL： <http://square.umin.ac.jp/jptf/>

大会長：玉木 彰 (兵庫医療大学)

主催：日本基礎理学療法学会

* 日本基礎理学療法学会では、学会会員も募集しております。お問い合わせは、学会事務局までお願いします。

日本基礎理学療法学会会長：金子 文成 (札幌医科大学)

お問い合わせ：日本基礎理学療法学会事務局

谷口圭吾 (札幌医科大学)

TEL：011-611-2111 (内線2973)

E-mail： jptf.jimu@gmail.com

編 集 後 記

平成24年は、本学会誌の大きな変化が顕在化する年である。

まずは、英文誌「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMS)」がスタートを切る。ことしと来年は年4回発行される。JPFMSは和文誌・体力科学と並行して運営され、アジアを中心としたスポーツ医学・運動科学の成果を、日本から世界に向けて発信することになる。すでに、中国・韓国・台湾に加え、ギリシャからも投稿があった。日本体力医学会設立60周年を記念する事業として計画されたJPFMSが、数年に渡る各種の準備期間を経て、いよいよ国際舞台に登場することに、編集委員の一人として感慨が大きい。刊行に至るまでの過程は常に、今泉和彦・英文誌編集委員長および鈴木政登・体力科学編集委員長の強いリーダー・シップと多大な尽力に支えられた。今後、世界中の研究者から「投稿したい」と思っただけの科学誌に育てるため、皆様からのご協力を願いたい。

和文誌・体力科学も、本年からA4サイズをキャンパスとしたスタイリッシュな体裁に変更された。本年の第1号を、総説1報、原著論文9報、資料1報と、豊富な

内容でお届けできるのも喜ばしい。総説は、最近注目されているmicro RNAの解説である。RNAによるエピジェネティクスの発見は、DNA for RNA for Proteinという生命科学のセントラル・ドグマを崩す新展開をもたらしており、その最新概念の解説は貴重である。

昨年の東日本大震災以降、何をすることも何を考えるにも、地震や原発の被害と切り離すことができない日々が続いている。それにもかかわらず、質・量ともに充実した一冊で本年を開始できるのは、昨年来の困難にあっても科学の営みを止めなかった、学会員、関係領域の研究者、および編集事務局のおかげである。ここに感謝の意を表したい。読者には、本号の気概溢れる報告を、楽しんでいただきたい。

あの地震の後、私の周囲には、節電のために実験室の明かりを落とし手元だけを照らして試験管を振る学生達があった。暖房は使っていないからと伝えても、「平気です」と突っぱね、厚着をして机に向かう学生達があった。そんな若者を見て、日本は大丈夫、と思った。

藤井宣晴

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.61, No.1

体 力 科 学 第 61 卷 第 1 号

平成 24 年 1 月 25 日 印 刷

平成 24 年 2 月 1 日 発 行

編 集 兼 発 行 者 鈴 木 政 登
 発 行 所 〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4階
 一般社団法人 学会支援機構
 日本体力医学会
 編 集 事 務 局 〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
 鶴岡印刷株式会社内
 「体力科学」編集事務局
 TEL・FAX(共通) 0235-22-3120
 E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp
 印 刷 所 〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
 鶴岡印刷株式会社